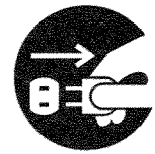
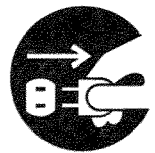


警告

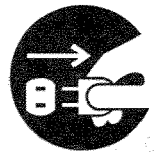
万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の恐れがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社にご連絡ください。



万一、異物(金属片、水、液体)が機器の内部に入った場合は、本体の電源プラグをコンセントから抜いて販売会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。



万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源プラグをコンセントから抜いて販売会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。



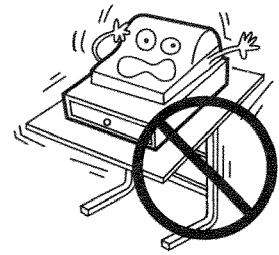
お客様による分解や修理・改造はしないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。また、火災の恐れがあります。



⚠ 注意

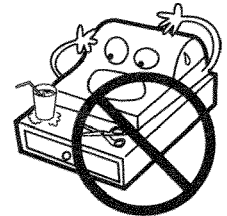
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



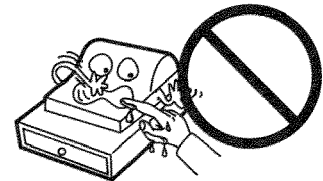
この機器の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。



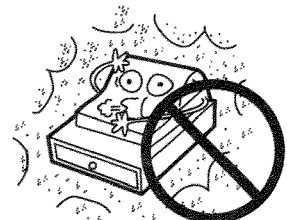
濡れた手でこの機器を使用したり、濡れた物でこの機器をふかないでください。

中に水が入った場合、火災、感電の原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かないでください。また、調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。

火災、感電の原因となることがあります。



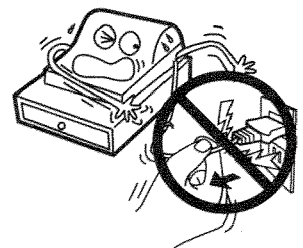
この機器の上に重い物を置かないでください。

置いたものがバランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください(必ずプラグを持って抜いてください)。

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



この機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



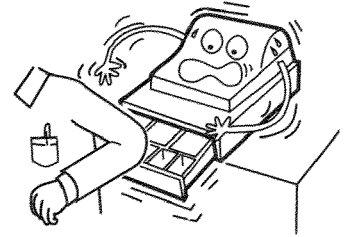
⚠ 注意

連休等で長期間、この機器を使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



引出し(ドロア)が開いている時に、引出し(ドロア)に寄りかからないでください。

落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



引出し(ドロア)が開く際、子供の顔等に当たらないよう、ご注意ください。

けがの原因となることがあります。

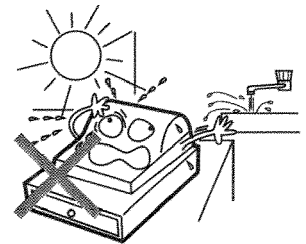


お願い

設置上のお願い

この機器を、直射日光があたる場所、湿度が異常に高いところ、水を使うところには設置しないでください。

変色や変形、故障の原因になります。



お手入れの方法

お手入れには乾いた柔らかい布をご使用ください。

揮発性の液体(ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。

キャビネットの変色または変質の原因になります。



はじめに

このたびは、シャープ電子レジスタをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、取扱説明書をよくお読みください。

なお、取扱説明書は、保証書とともに必ず保存してください。万一、ご使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。

- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載あるいは複製することはお断りします。
- 本書の内容および本機は、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。
- 本書および本機は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご使用前に

電源プラグがコンセント（AC100V）から長期間抜かれていた場合、メモリ保持用内蔵電池の充電レベルが低下しています。電源プラグをコンセント（AC100V）に接続して24時間以上経過（再充電）した後ご使用をはじめてください。

補充インキは、店名スタンプ専用のもので、インキローラには絶対補充しないでください。故障の原因となります。

本機をご使用になる際は、必ずロール紙を取り付けてお使いください。取り付けずにご使用になりますと、プリンタ故障の原因となります。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

なお、詳しくはもよりの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口までご相談ください。

お使いになる前に

安全にお使いいただくために	
はじめてお使いになる前の準備	9
レジスタの1日の流れ	15
各部のなまえとはたらき	16
キーのなまえとはたらき	18
エラー処理のしかた	20

日頃の操作

基本的な使いかた	22
便利な使いかた	27
訂正のしかた	39
売上の確認 (点検)	42
売上の精算 (精算)	45
期間の集計 (点検/精算)	46
お店に合わせた設定	49

知っておいて
いただきたいこと

消耗品の補充と交換	67
引出しの取扱いについて	72
その他の取扱いについて	73
仕様	75
故障かなと思ったら	76
アフターサービスについて	77

マークの意味



メモマーク



ご注意



用語説明

お使いになる前に

日頃の操作

知っておいて
いただきたいこと

もくじ

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

はじめてお使いになる前の準備 9～14

・付属品を確認する	9
・設置する	9
・電源を入れる	9
・ロール紙を取り付ける	10
・日付と時刻を合わせる	12
・消費税をお店に合わせて設定する	14

レジスタの1日の流れ 15

・開店前は	15
・営業時間中は	15
・閉店後は	15

各部のなまえとはたらき 16～17

・外観図	16
・プリンタ	16
・表示部	17
・機能切りかえスイッチ	17

キーのなまえとはたらき 18～19

エラー処理のしかた 20～21

・エラーコード表	20
・オーバーフローエラーについて	21
・ CL を押してもエラー状態が解除できないときは	21











日頃の操作

基本的な使いかた 22～26

・お買い上げとつり銭の計算は	22
・レシートの見かた	23
・レシートの発行を止めるには	23
・同じ商品を2個以上販売したときは	24
・単品の現金売りが多いときは	26
・両替などで引出しを開けたいときは	26

便利な使いかた 27～38

・値引するには	27
・割引・割増をするには	29
・クレジットカードでの支払いがあったときは	31
・ついで売る(掛売りする)ときは	32
・返品があったときは	33
・売上と関係ない現金の出し入れがあったときは	33
・クレジットカードの番号などを印字したいときは	34
・レシート発行停止中にレシートを発行するには	34
・計算機能を使うには	35
・認証印字をするには	37

訂正のしかた	39 ~ 41
・数字を打ちまちがえたときは	39
・登録の直後にまちがいに気付いたときは	直前訂正 ... 39
・登録の途中でまちがいに気付いたときは	指定訂正 ... 40
・登録した内容を取り消すときは	全項目取消 ... 41
・レシートの発行後に取り消したいときは	レジマイナス ... 41
売上の確認(点検)	42 ~ 44
・営業中に売上を確認するには	ワンタッチ点検 ... 42
・時間帯ごとに売上を集計するには	時間帯別集計 ... 42
・取引別に売上を集計するには	取引別点検 ... 43
・項目別に売上を集計するには	日計全項目点検 ... 44
売上の精算(精算)	45
・全項目の売上を精算するには	日計全項目精算 ... 45
・時間帯ごとの売上を精算するには	時間帯別精算 ... 45
期間の集計(点検/精算)	46 ~ 48
・取引別と全項目の期間集計1をするには	46
・取引別と全項目の期間集計2をするには	47
・日計の期間集計をするには	48
お店に合わせた設定	49 ~ 67
・初期設定について	49
・消費税の設定①	税率および免税点 ... 49
・消費税の設定②	合計額および税額の端数処理 ... 50
・消費税が改正されるときは(消費税メンテナンス機能)①	税率更新のタイミングと更新日付の設定 ... 51
・消費税が改正されるときは(消費税メンテナンス機能)②	税率および免税点の設定 ... 52
・部門キーの設定①	単価 ... 53
・部門キーの設定②	プラス部門/マイナス部門、非課税/課税/内税、現金単品売りほか ... 54
・  の設定①	値引額 ... 55
・  の設定②	値引のしかた ... 55
・  の設定①	割引率、割増率 ... 56
・  の設定②	割引、割増のしかた ... 56
・  の設定	57
・  、  の設定	58
・  を押したときのつり銭限度額の設定	59
・  、  の設定	取引限度額 ... 59
・認証印字の設定	60
・選択機能の設定①	機能禁止の設定 ... 61
・選択機能の設定②	印字形式の設定 ... 62
・選択機能の設定③	点検・精算レポートのゼロスキップ設定 ... 63
・選択機能の設定④	点検・精算レポートの印字内容の設定 ... 64
・レジスタ番号の設定	65
・一連番号の設定	65
・設定内容の点検	66

もくじ

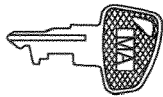
知っておいて
いただきたいこと

消耗品の補充と交換	67～71
・消耗品について	67
・ロール紙の交換のしかた	67
・紙づまりのときは	70
・インキローラの交換のしかた	70
・スタンプインキの補充のしかた	71
引出しの取扱いについて	72
・引出しの施錠と開錠のしかた	72
・引出しの開けかた	72
・引出しの外しかた	72
その他の取扱いについて	73～74
・停電のときは	73
・印字中に停電になったときは	73
・プリンタが停止（モーターロック）したときは	73
・プログラムリセット	73
・練習データを消したいときは	74
仕様	75
故障かなと思ったら	76
・こんなとき、ここをお確かめください	76
アフターサービスについて	77
・製品の保証について	77
・修理を依頼されるときは	77
・補修用性能部品について	77
・店名スタンプ作成ご依頼要領	77

はじめてお使いになる前の準備

付属品を確認する

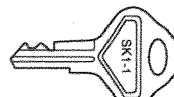
梱包をとり、以下の付属品がすべてそろっているか確認してください。



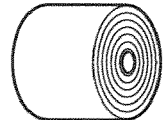
管理者鍵(MA)2個



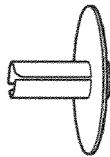
担当者鍵(OP)2個



引出し鍵2個



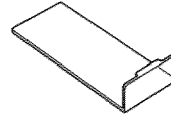
ロール紙2個



巻取軸1個



スタンプ補充インキ1個



紙幣仕切板1個
(引出し内に装備)



取扱説明書(本書)1冊※

保証書1部

お客様ご相談窓口
一覧表1部

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

標準スタンプ1個、インキローラ1個は本体に装着されています。

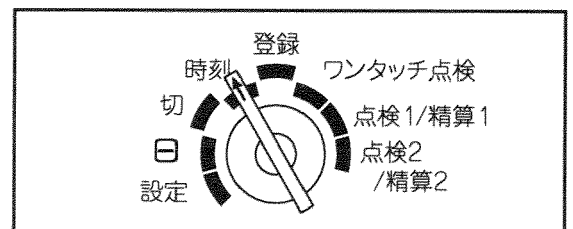
設置する

「安全にお使いいただくために」の内容を確認して、レジスタを設置します。

電源を入れる

- 1 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 2 機能切りかえスイッチに管理者鍵(MA)を差し込み“時刻”の位置に合わせます。

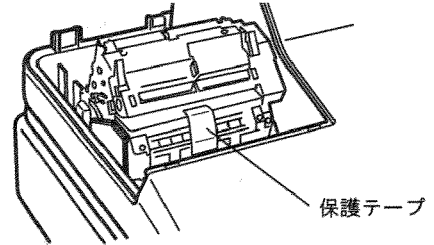
表示部が点灯するのを確認します。



電源を切るときは、機能切りかえスイッチを“切”の位置に合わせます。

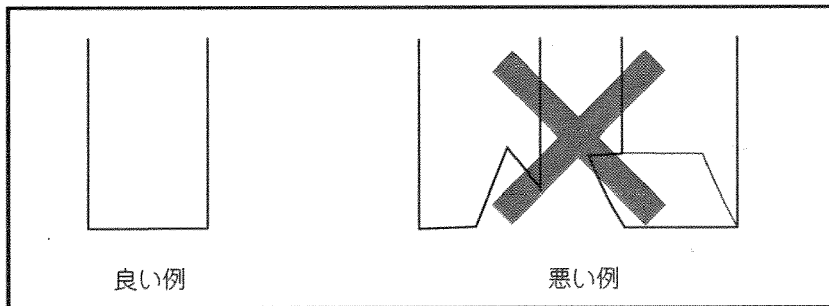
● ロール紙を取り付ける

出荷時は、インキローラをテープで固定してあります。
ロール紙を取り付ける前に、必ずこのテープをはがしてください。

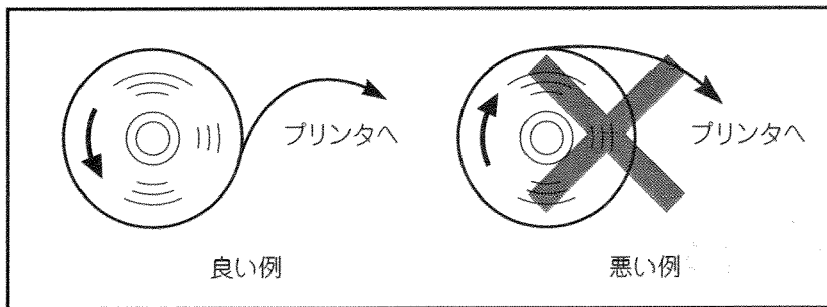


レシート側・記録紙側ともに、セット方向と先端の処理に注意して、ロール紙をプリンタに挿入してください。

ロール紙の先端処理




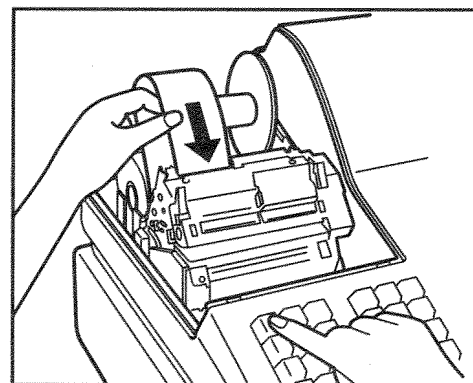
ロール紙の入れかた




ロール紙は必ず当社推奨のものをご使用ください。(P.67ページ)
推奨以外のロール紙をご使用になりますと、紙づまりを起こすなど、故障の原因となります。

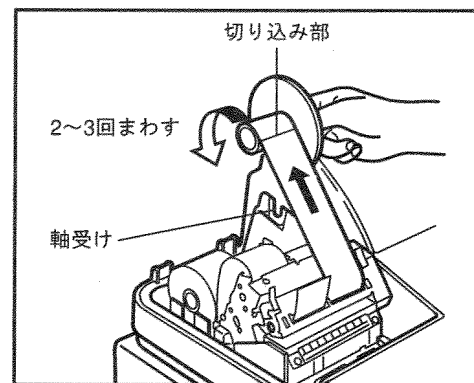
レシート側

- 1 プリンタカバーを取り外します。
- 2 セット方向に注意して、ロール紙をロール紙収納箱の中に落とし込みます。
- 3 ロール紙の先端をまっすぐ平らに切り、プリンタのロール紙挿入口へ、まっすぐ奥まで差し込みます。
- 4  を押して、必要な長さを送り出します。



記録紙側

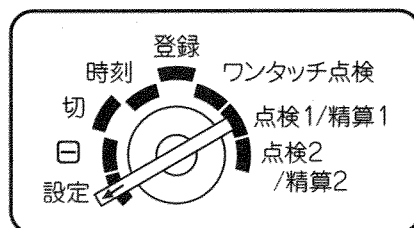
- 1 レシート側と同じ方法でロール紙をロール紙挿入口へ差し込み、 を押して、必要な長さを送り出します。
- 2 送り出されたロール紙の先端を巻取軸の切り込み部に差し込み、2~3回巻き付けてから巻取軸を軸受けに取り付けてください。
- 3 プリンタカバーを取り付けます。



日付と時刻を合わせる

日付および時刻は、一度設定しておくとも自動的に更新され、レシート発行時や点検・精算時に印字されます。

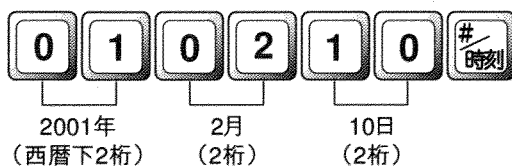
管理者鍵(MA)で機能切りかえスイッチを“設定”の位置に合わせます。



1 日付の設定

例

2001年2月10日に設定する場合



01-02-10

年は常に西暦の下2桁を入力してください。一度設定すると、内蔵しているカレンダーによってうるう年の補正も自動的におこないます(2099年までのカレンダーを内蔵)。


2 時刻の設定

例



午後3時5分に設定する場合



15-05

時刻を24時間制で設定してください。午後9時30分に設定する場合、24時間制では21時30分ですから、“2130”と打ち込みます。何も打ち込まずに、を押すと、午前0時0分に設定されます。





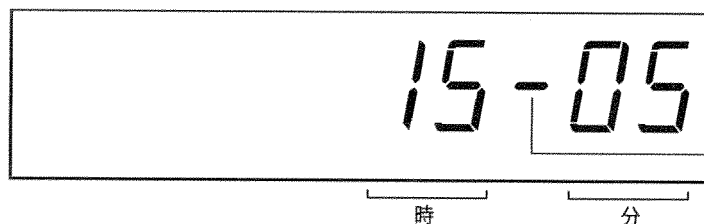
- 数字を押しまちがえたときは、を押して取り消してください。
- レシートや点検・精算表へは、設定された日付の西暦年が4桁で印字され、表示も4桁になります(出荷時設定)。西暦年の印字と表示の設定は、4桁から2桁に変更できます( 62ページ)。

はじめてお使いになる前の準備

●時刻と日付を確認するときは

[方法1] 機能切りかえスイッチを“時刻”の位置に合わせると、現在の時刻が表示されます。

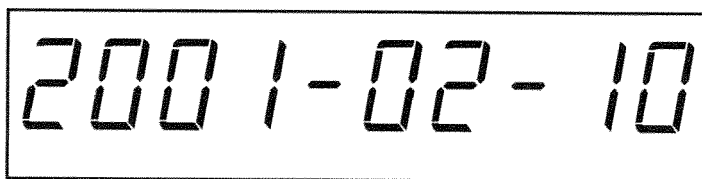
[方法2] “登録”または“”の位置では、前の取引や操作が終了しているときに  を押します。



午後3時5分(24時間制)の場合

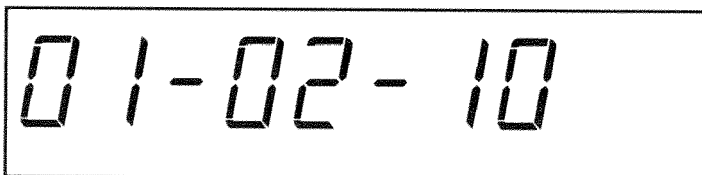
時刻を表示している状態で  を押すと、日付が表示されます。

●西暦4桁表示のとき(出荷時)







2001年2月10日の場合

●西暦2桁表示のとき



2001年2月10日の場合



-  を押すごとに、時刻と日付を交互に表示します。
- 機能切りかえスイッチが“登録”または“”のときは、 や置数キーの操作によって時刻・日付の表示が解除されます。
- 西暦年の表示と印字は、4桁から2桁に設定を変更することができます。( 62ページ)

消費税をお店に合わせて設定する

最後に、消費税をお店に合わせて設定します。
消費税の計算には、次の3つの方法があります。

外税	内税	非課税
<p>販売価格は、商品価格に消費税5%を付けた価格です。</p> <p>商品価格 = 1,000円 消費税 = 50円 販売価格 = 1,050円</p>	<p>販売価格には、商品価格と消費税5%が含まれています。</p> <p>商品価格 = 952円 消費税 = 48円 販売価格 = 1,000円</p>	<p>販売価格に、消費税を入れな いで販売します。</p> <p>商品価格 = 1,000円 消費税 = 0円 販売価格 = 1,000円</p>

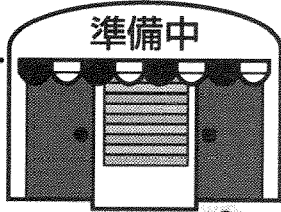
ご購入時、消費税は次のように設定されています。

消費税率	税の種類	税の対象
5%	消費税1	外税対象

- 外税商品のみを扱うお店 → このまま使えます
- 内税商品を扱うお店 → 設定を変更してください (☞ 54ページ)
- 非課税商品を扱うお店 → 設定を変更してください (☞ 54ページ)
- 消費税が複数になったとき → 設定を変更してください (☞ 49、51、52ページ)
- 消費税率を変更するとき → 設定を変更してください (☞ 51、52ページ)

レジスタの1日の流れ

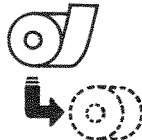
レジスタの1日の流れ



- 必要に応じて設定
(☞49ページ)
- 消費税の設定
 - 部門キーの設定
 - パーセントキーの設定
 - 制限桁数の設定
 - 印字内容の設定など



電源プラグが外れていないか確認

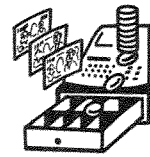


ロール紙が十分に
あるか確認
(☞67ページ)



日付・時刻の確認
(☞13ページ)

開店前は

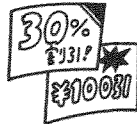


つり銭用の現金を引
出しに入れる
(☞33ページ)

営業時間中は



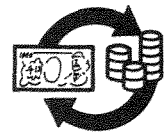
商品の現金販売
(☞22ページ)



商品の割引
(☞29ページ)
商品の値引
(☞27ページ)



番号の印字
(☞34ページ)



両替
(☞26ページ)



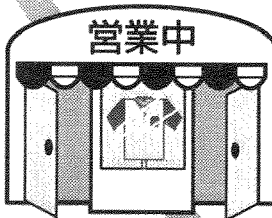
クレジットカード
での支払い
(☞31ページ)



つげ売り(掛売り)
(☞32ページ)



売上と関係しない
現金の出し入れ
(☞33ページ)



返品
(☞33ページ)



登録の取り消し
(☞39ページ)

閉店後は



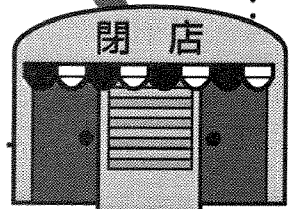
1日の売上げの精算
(☞45ページ)



引出しの中の現金を
別の場所に保管

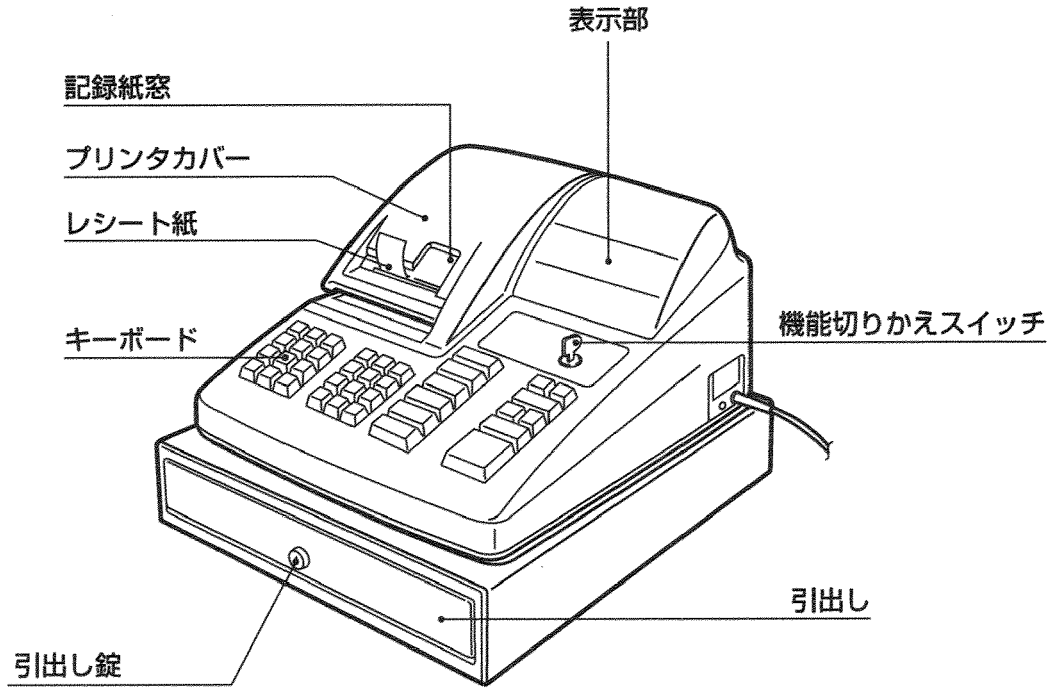


電源を切る

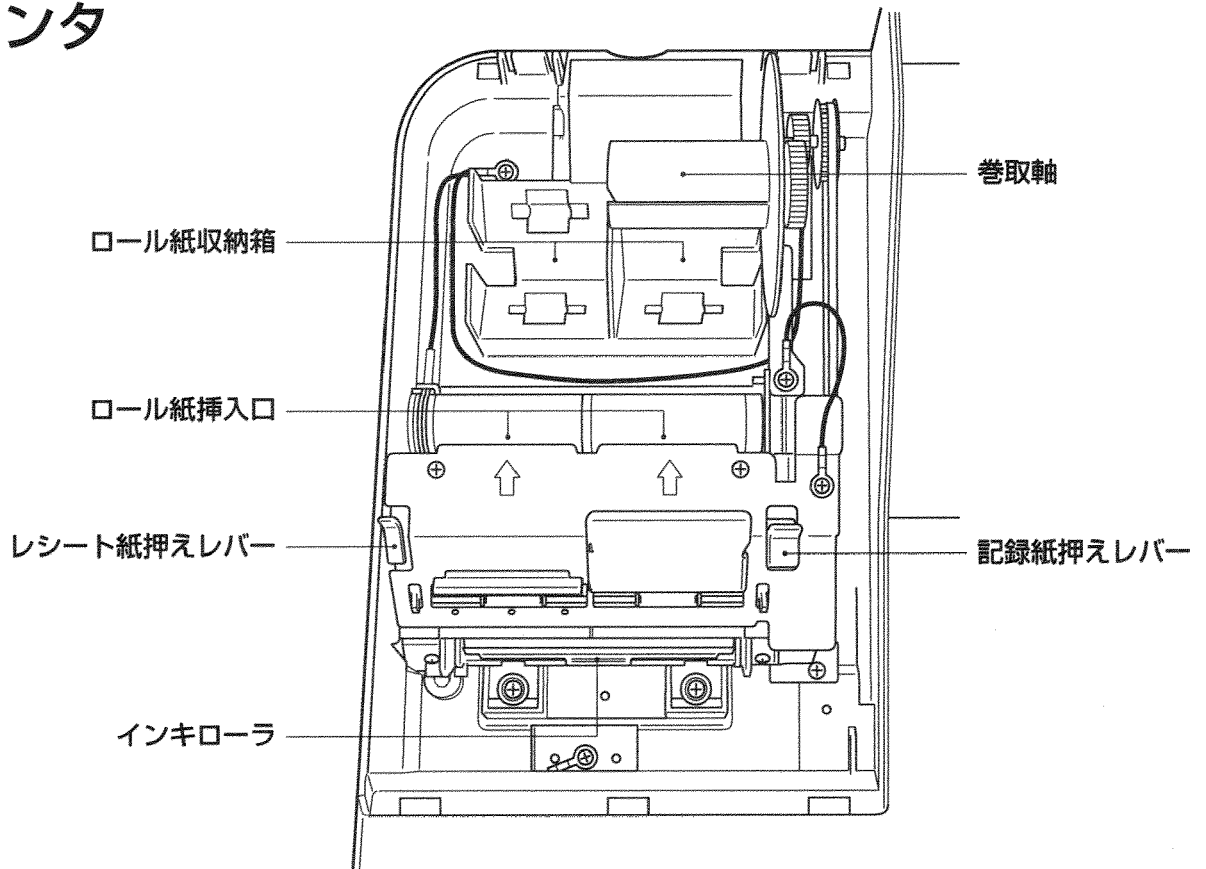


各部のなまえとはたらき

●外観図



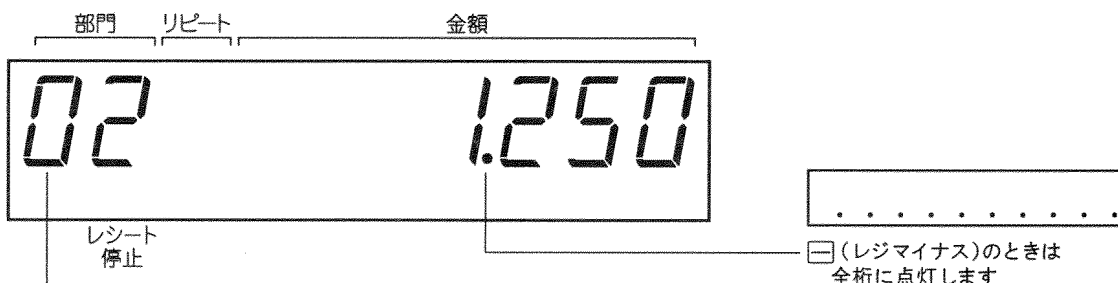
●プリンタ



各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらき

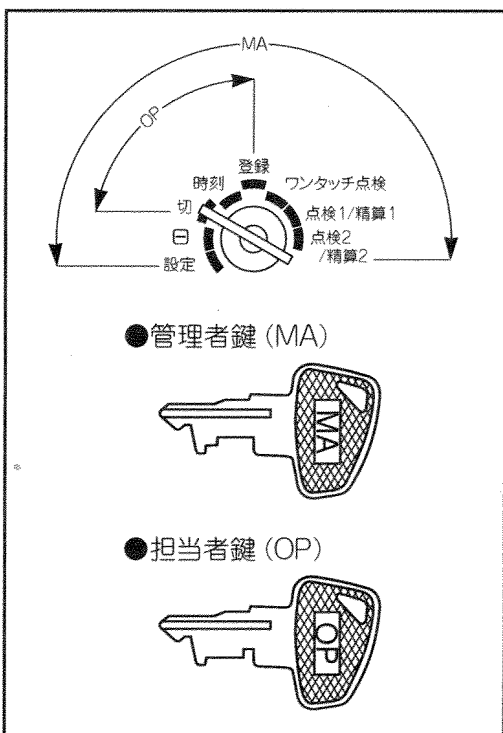
●表示部



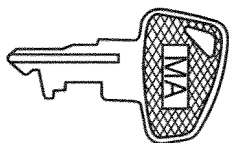
表示	説明	表示	説明
F	取引を終了したときに点灯します。	U	認証印字が強制されているときに点灯します。(☞ 37ページ)
O	小計または預り不足金額が表示されるときに点灯します。(☞ 22, 31ページ)	E	エラーのときに点灯します。(☞ 20ページ)
[つり銭額が表示されるときに点灯します。(☞ 22ページ)	P	設定のときに点灯します。
C	計算モードを指定したときに点灯します。(☞ 35ページ)		

- 金額表示 金額を右から最大7桁表示します。
割引、値引などマイナス登録のときは金額の左に“-”を表示します。
- リピート登録回数表示 リピート登録のリピート回数表示は“2”からです。10回目は“0”を表示し、それ以上は2桁目を省略します。(☞ 24ページ)
(2→3→4→.....8→9→0→1→.....)
- 不加算コード 最大8桁を表示します。(☞ 34ページ)
- レシート停止 レシート発行停止時、“_”を表示します。(☞ 23ページ)

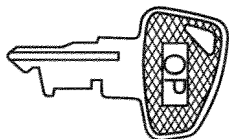
●機能切りかえスイッチ



●管理者鍵 (MA)



●担当者鍵 (OP)















- 機能切りかえスイッチは、付属の管理者鍵(MA)、または担当者鍵(OP)を使って切りかえます。担当者鍵(OP)では、切/時刻/登録の切りかえのみができます。
- 鍵の抜き差しは、“切”または“登録”の位置でおこないます。


- 切： 表示が消え、すべての操作を禁止します。
- 時刻： 時刻と日付の表示をおこないます。
- 登録： 各種登録をおこないます。
- ワンタッチ点検： 売上げ高の表示をおこないます。
- 点検1/精算1： 一日の売上高の点検または精算をおこないます。
- 点検2/精算2： 任意期間の売上高の点検または精算をおこないます。
- ☐(レジマイナス)： レシート発行後(取引終了後)の取り消しをおこないます。
- 設定： 登録に必要な各種設定および、設定内容の点検をおこないます。

キーのなまえとはたらき

キーのなまえとはたらき

	● レシート紙送りキー レシート紙の紙送りに使います。
	● 記録紙送りキー 記録紙の紙送りに使います。
	● 事後レシート発行キー レシート発行を停止している状態で、取引が終了した分のレシートを発行させたいときに使います。(☎34ページ)
	● 値引キー 個々の売上商品や小計金額に対して、値引登録をおこなうときに使います。
	● 訂正キー 直前訂正、指定訂正、全項目の取り消しをおこなうときに使います。(☎39ページ)
	● 認証印字キー 認証印字をおこなうときに使います。(☎37ページ)
	● 不加算登録/時刻・日付表示キー 不加算コード番号の印字をおこなうときに使います。(☎34ページ) 時刻・日付を表示するときに使います。
	● 戻品キー 戻品(返品)登録に使います。(☎33ページ)
	● 乗算キー 乗算登録に使います。(☎25ページ)
	● クリアキー 数字を押しまちがえたときの消去や、エラー状態の解除に使います。
	● 入金キー 掛売りの入金やつり銭用の準備金など、入金登録のときに使います。
	● 支払いキー 支払い登録のときに使います。

●置数キー









単価や個数を打ち込むときに使います。
(を押すと、"0"を一度に2桁打ち込めます。)



●小数点キー

個数または割引率に小数点を含むときに使います。

計算機能

キーの左下にある         のキーは、計算機能で使います。
(☎35ページ)

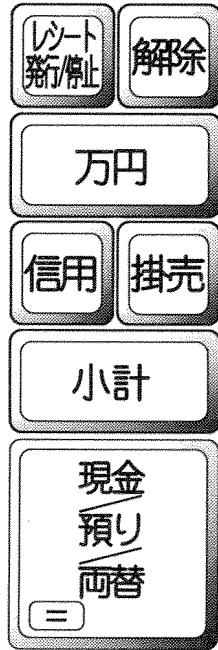
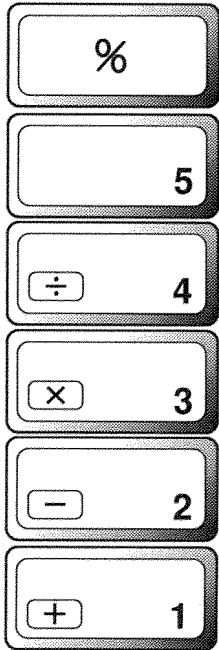
キーのなまえとはたらき

キーのなまえとはたらき



部門とは

5つの部門キーを使い分け、商品进行分类して登録すると、部門別の売上集計がとれます。どの部門の商品が何個、いくら売れているのかがわかります。お店にあった分類をしてください。



●レシート発行/停止切りかえキー
レシート発行と停止の切りかえに使用します。
(☎23ページ)



●解除キー
[CL]を押してもエラー状態が解除できないときに使用します。(☎21ページ)



●万札キー
1万円札を預ったときに使用します。
(現金の預り登録、入金、支払いの登録に有効です。)(☎22ページ)



●信用売りキー
クレジットカード、商品券、小切手などで支払いがあったときに使用します。
(☎31ページ)



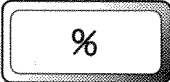
●掛売りキー
つけ(掛売り)で売るときに使用します。
(☎32ページ)



●小計キー
小計金額(税込み)の算出に使用します。(☎22ページ)



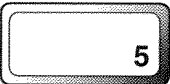
●現金売り/預り/両替キー
現金売り、預り登録(つり銭計算)、両替をおこなうときに使用します。



●パーセントキー
個々の売上商品や小計金額に対して、割増または割引登録をおこなうときに使用します。



●部門キー
個々の商品の売上を登録するときに使用します。商品によって押す部門キーを使い分け、部門別の商品管理ができます。
現金単品売りをするときには使用します(単品売り設定部門のみ)。(☎26ページ)



エラー処理のしかた

エラーが発生すると、長い警告音(約2秒間)が鳴り、表示部にエラーコードを表示します。このとき **CL** でエラー状態を解除し、下記のエラーコード表の処理方法にしたがってください。

また、誤ったキー操作をしたときは、短い警告音が鳴ります。このときキー入力は受け付けていませんので、引き続き正しいキー操作をおこなってください。

エラーコード表

エラーコード	エラー内容	処理方法
E01	登録が誤っているか、禁止されている登録です。	正しい登録をしなおしてください。
E02	誤ったキー操作がおこなわれました。	正しいキー操作をしなおしてください。
E03	存在しない番号です。	正しいコード番号を打ち込んでください。
E04	小計キー操作が強制されています。	小計 を押した後、操作を続けてください。
E05	預り操作が強制されています。	預り金額を打ち込んでください。
E08	認証印字が強制されています。	認証伝票用紙をセットし、認証印字をしてください。(37ページ)
E12	設定された制限をオーバーしています。	設定された制限内で登録してください。くわしい内容については、次ページの「オーバーフローエラーについて」を参照してください。
E13	単価の登録方法が"プリセットのみ"になっています。	あらかじめ設定されている単価を使って登録してください。
E14	単価の登録方法が"オープンのみ"になっています。	単価を打ち込んで登録してください。
E15	預り不足後の丁度締め操作はおこなえません。	金額の預り操作をしてください。




●●● オーバーフローエラーについて

レジスタの登録範囲を超えたときには、オーバーフローエラーとなり、以後の登録ができなくなります。エラー状態を解除し、次の処理方法にしたがってください。

置数入力が13桁を超えたとき

エラー解除後、正しく打ち込みなおしてください。

1取引内の外税抜きの商品合計額が7桁を超えたとき

エラー解除後、   などの取引キーを押していったん取引を終了してください。エラー前の金額で取引が終了します。

外税込みの合計、預り、入金、支払い金額が8桁を超えたとき

エラー解除後、分割して登録しなおしてください。制限桁数を設定しているときは、その桁数以下で登録しなおしてください。



乗算登録時、単価と個数の積が7桁を超えたとき

エラー解除後、分割して登録しなおしてください。


その他、個々に設定された制限値を超えたとき

エラー解除後、個々の制限内で登録をしなおしてください。





- 制限を超える登録が必要なときは、“登録”の位置で金額を打ち込んだあとで、機能切りかえスイッチを“” (レジマイナス) または“” (ワンタッチ点検) の位置にして、部門キーを押してください。登録後は、機能切りかえスイッチを“登録”の位置に戻してください。

●●● を押してもエラー状態が解除できないときは

 を押してもエラー状態が解除できないとき、エラーで操作ができないとき、どうしてよいかわからなくなったときは、次のように操作してください。

(この操作によってエラー状態を解除したときは、「一★一★一★一★一」が記録紙に印字されます。)

取引を中止し、はじめから登録しなおしたいとき

 を押したあと、もう一度  を押します。

直前に登録した内容がすべて取り消されます(全項目取消)。

ただし、預り途中でエラーが発生して、この操作をした場合は、「現金丁度締め」として処理されますので、ご注意ください。

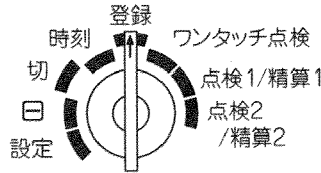
エラーを解除して現金丁度締めとして終了したいとき

 を押したあと、 を押します。

現金丁度締めとして処理されます。

ただし、不加算コードの入力後にエラーが発生して、この操作をした場合は、「両替」として処理されますので、ご注意ください。

基本的な使いかた

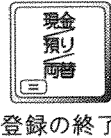
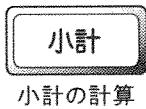
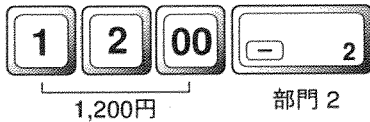
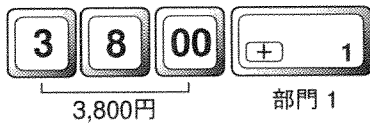


機能切りかえスイッチの位置を“登録”にします。各種設定は、特にことわり書きのない限り、初期値です。

●●●お買い上げとつり銭の計算は

例

3,800円(部門1、消費税外税対象)と、1,200円(部門2、消費税外税対象)の商品を売り、10,000円を預ったとき



01	*3800	
02	*1200	
	*5000	小計
	*250	税
	*5250	計
	*10000	現金
	*4750	釣り銭

基本的な使いかた



- あらかじめ単価を部門キーに設定しておく、部門キーを押すだけで単価を登録できます(プリセット登録 54ページ)。
- **小計** は省略できます。また登録途中に何回でも **小計** を押せます。
- 売上ちょうどの金額を受け取ったときは、預り金額を入れずに直接 **現金預り/両替** を押して登録を終了させることもできます。
- 消費税の処理は、あらかじめ設定した状態でおこなわれます(49ページ)。
- **万円** を使うと、点検・精算レポートに1万円札の枚数が印字されます(43ページ)。
1 00 00 などと押して登録しても、1万円札とは数えられません。



ご注意

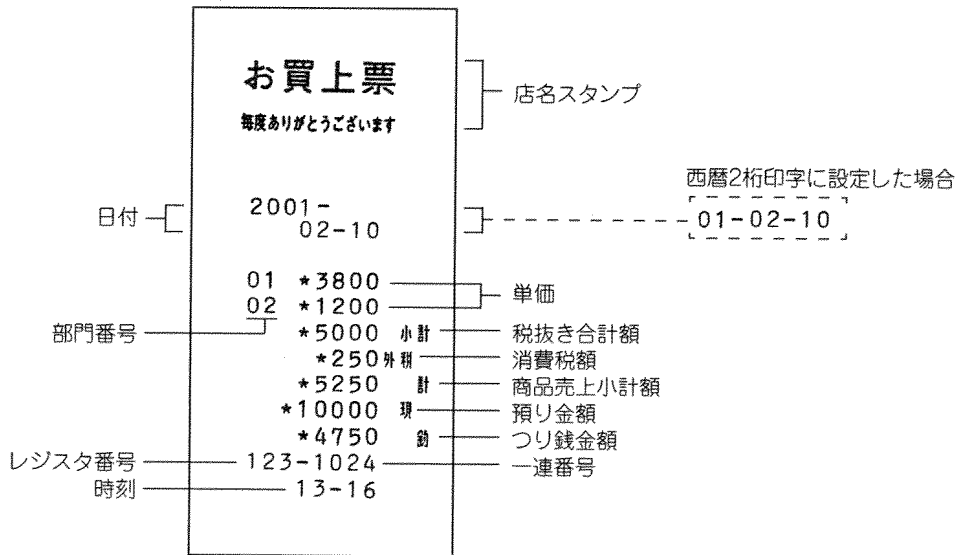
- 売上金額より、預り金額が小さかったときは、**現金預り/両替** を押しても引出しが開きません。表示部に不足額が表示されます。もう一度不足額より大きな預り金額を入れて **現金預り/両替** を押しください。または、**現金預り/両替** を押して登録を終了します。




登録とは

商品の金額や部門、預り金額などを入れ、レジスタに記憶させることです。

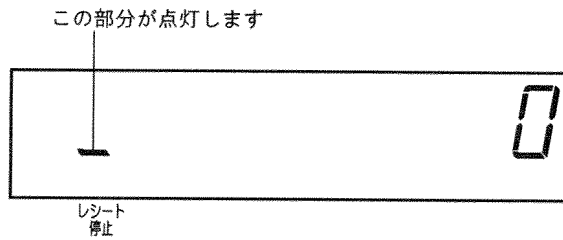
●●●レシートの見かた





●●●レシートの発行を止めるには

 を押して、レシートの発行/停止を切りかえます。

レシートの発行が停止状態のときは、表示部の下図の部分点灯し、記録印字だけをおこないます。発行状態のときは、この部分は点灯しません。



- レシートの発行が停止状態でも、機能切りかえスイッチが“登録”“ワンタッチ点検”の位置以外で操作された場合は、レシートが発行されます。レシート側のロール紙は常にセットしておいてください。
- レシートの発行が停止状態でも、一つの取引が終わったすぐ後で  を押すと、その取引についてのみレシート(事後レシート)が発行できます( 34ページ)。

●●●同じ商品を2個以上販売したときは

個数の少ないとき.....

リピート登録

単品登録後、同じ部門キーを個数分だけ繰り返します。

例 350円の商品(部門1、消費税外税対象)を、3個売るとき

3 5 0 (+) 1
350円 部門1

(+) 1 (+) 1
繰り返し

現金預り
両替
登録の終了

01 350

3 350
リピート登録回数

F 1102

01	*350	
01	*350	
01	*350	
	*1050	小計
	*52	外税
	*1102	現

基本的な使いかた



- あらかじめ単価を部門キーに設定しておくと、部門キーを押すだけで単価を登録できます(プリセット登録 54ページ)。
- 小計金額が9,999,999円までなら何回でもリピート登録ができます。
- リピート登録途中にほかの有効キー(たとえば置数キーなど)を押すと、その後はリピート登録を継続できません。

基本的な使いかた

個数の多いとき

乗算登録

(単価) × (個数) で登録します。

例

350円の商品(部門1、消費税外税対象)を、8個売るとき

3 5 0

350円

⊗ 8 ⊕ 1

個数 部門1

現金
預り
両替

登録の終了

350

01 2800

F 2940

8個
350@
01 *2800
*2800 小計
*140外税
*2940 現

あらかじめ単価を部門キーに設定しているときは、(個数) × (部門キー) で登録します。

例

350円の商品(部門1、単価350円に設定、消費税外税対象)を、8個売るとき

8 ⊗ ⊕ 1

個数 部門1

現金
預り
両替


登録の終了

01 2800

F 2940

8個
350@
01 *2800
*2800 小計
*140外税
*2940 現



- 乗算登録のリPEATはできません。
- 「選択機能の設定①」で小数入力を“可能”に設定している場合は、個数を小数点以下第3位まで登録できます。小数部を入力するときは、 を押してから打ち込んでください。

基本的な使いかた

●●●単品の現金売りが多いときは

部門キーに現金単品売りを設定しておくこと、部門キーを押すだけで登録が完了します。

例

350円の商品(部門1、現金単品売りに設定、消費税外税対象)を売るとき

3 5 0

350円

+ 1

部門1 登録の終了

350

F 367

01 *350
*350 小計
*17外税
*367 現



- 他の登録をしたあとでは、現金単品売りの設定をした部門キーを押しても、登録は終了しません。
- 現金単品売りに設定した部門にあらかじめ単価を登録しておくこともできます(☞ 53ページ)。
- 登録操作の最初に、金額を打ち込んでから **現金/預り/両替** を押すと、部門1への現金単品売り登録としてはたります。(「選択機能の設定①」で **現金/預り/両替** に現金単品売りの機能が設定されている場合)

●●●両替などで引出しを開けたいときは

取引が終了しているとき、**現金/預り/両替** を押してください。引出しが開き、両替することができます。

例

現金
預り
両替

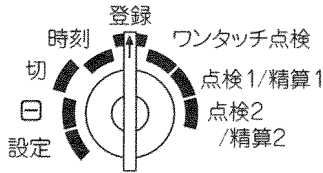
0

替



- 「選択機能の設定①」で **現金/預り/両替** の機能切りかえを“両替時の金額入力”に設定している場合は、金額を打ち込んでから **現金/預り/両替** を押すと、両替金額が登録できます(☞ 61ページ)。

便利な使いかた



機能切りかえスイッチの位置を“登録”にします。

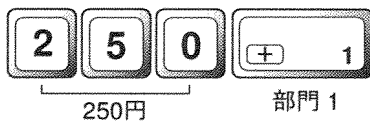
●●●●値引するには

個々の商品から値引するとき

部門キーを押した直後に、値引額と を押します。

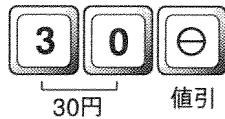
例

250円の商品(部門1、消費税外税対象)を30円引きで、
また300円の商品(部門2、消費税外税対象)を50円引きで売るとき



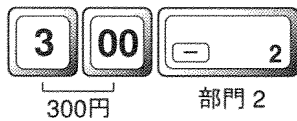
250円

部門 1



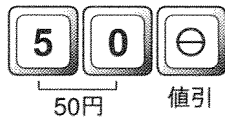
30円

値引



300円

部門 2



50円

値引



登録の終了

01 250

-30

02 300

-50

F 493

01	*250	
	-30	⊖
02	*300	
	-50	⊖
	*470	小計
	*23	外税
	*493	現

便利な使いかた



- あらかじめ に値引額を設定しておく、 を押すだけで値引できます(55ページ)。値引額が設定してあっても、値引額を打ち込んだ場合は、その額が優先します。

小計額から値引するとき

小計 を押したあと、値引額と **⊖** を押します。

例

570円の商品(部門1、消費税外税対象)と900円の商品(部門2、消費税外税対象)を売り、小計額から300円値引するとき

5 7 0 **+** 1
570円 部門1

9 0 0 **-** 2
900円 部門2

小計
小計の計算

3 0 0 **⊖**
300円 値引

現金
預り
両替
⊖
登録の終了

01 570

02 900

0 1543

-300

F 1228

01	*570	
02	*900	
	*1470	小計
	-300	⊖
	*1170	小計
	*58	外税
	*1228	現



- あらかじめ **⊖** に値引額を設定しておく、**⊖** を押すだけで値引できます(☞ 55ページ)。値引額が設定してあっても、値引額を打ち込んだ場合は、その額が優先します。
- 課税後の合計から、端数金額を値引する(端数値引する)ときは、「**⊖** の設定②」で、**⊖** を端数値引専用キーに設定する必要があります(☞ 55ページ)。

●●●●割引・割増をするには

個々の商品に割引・割増をするとき

% は、割引か割増のどちらかに使用できます。

部門キーを押した直後に、割引率(または割増率)と **%** を押します。

例

5,600円の商品(部門1、消費税外税対象)を、10%割引で売るとき

5 6 00 (+) 1
5,600円 部門1

1 0 %
割引率10% 割引

現金
預り
代替

登録の終了

01 5.600

-560

F 5.292

01	*5600	
	-10 %	
	-560	
	*5040	小計
	*252	外税
	*5292	現

便利な使いかた



- **%** にあらかじめ割引率や割増率を設定しておくこともできます(56ページ)。
割引/割増率が設定してあっても、割引/割増率を打ち込んだときは打ち込んだ割引/割増率が優先されます。
- ご購入時、**%** は、割引(マイナス符号)に設定されています。割増にするときは、設定を変更してください(56ページ)。
- マイナスに設定された部門に割引や割増はできません。
- 「選択機能の設定①」で小数入力を“可能”に設定している場合は、割引/割増率を小数点以下第2位(0.01~100.00%)まで入力できます。小数部を入力するときは、**.** を押してから打ち込んでください(61ページ)。

小計額に割引・割増をするとき

% は、割引か割増のどちらかに使用できます。

小計 を押したあと、割引率(または割増率)と **%** を押します。

例

300円の商品(部門1、消費税外税対象)と、900円の商品(部門2、消費税外税対象)を売り、小計額から5%割引するとき

3 00 **+** **1**
300円 部門1

9 00 **-** **2**
900円 部門2

小計
小計の計算

5 %
割引率5% 割引

**現金
預り
両替**
登録の終了

01 300

02 900

0 1260

-60


F 1197

01	*300	
02	*900	
	*1200	小計
	-5	%
	-60	
	*1140	小計
	*57	外税
	*1197	現



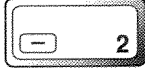
- 小計がゼロまたはマイナスのとき、小計からの割引や割増はできません。
- **%** にあらかじめ割引率や割増率を設定しておくこともできます(56ページ)。
- 割引/割増率が設定してあっても、割引/割増率を打ち込んだときは打ち込んだ割引/割増率が優先されます。
- ご購入時、**%** は、割引(マイナス符号)に設定されています。割増にするときは、設定を変更してください(56ページ)。
- 「選択機能の設定①」で小数入力を“可能”に設定している場合は、割引/割増率を小数点以下第2位(0.01~100.00%)まで入力できます。小数部を入力するときは、**.** を押してから打ち込んでください(61ページ)。

●●●クレジットカードでの支払いがあったときは

クレジットカード、商品券、小切手などによる支払いでは、 を使います。

例

4,000円の商品(部門2、消費税外税対象)を売り、支払いがクレジットカードのとき

4 0 00  2
4,000円 部門 2


信用売り


02 4000


F 4200


02	*4000	
	*4000	小計
	*200	外税
	*4200	信

例

1,200円の商品(部門2、消費税外税対象)を売り、現金で1,000円、商品券で500円の支払いがあったとき

1 2 00  2
1,200円 部門 2

1 0 00 
1,000円

5 00 
500円 信用売り



02 1200

0 260

[240
つり銭

02	*1200	
	*1200	小計
	*60	外税
	*1260	計
	*1000	現
	*500	信
	*240	釣



- 現金での支払いとは別に集計されます。
- 小計金額を表示するときは、 の前に  を押してください。
- つり銭は、現金支払いになります。

●●●●つけで売る(掛売りする)ときは

例

4,500円の商品(部門1、消費税外税対象)を、つけで売るとき

4 5 00 [+] 1
4,500円 部門 1

掛売

つけ売り(掛売り)

01 4500

F 4725

01	*4500
	*4500 小計
	*225 外税
	*4725 掛

例

1,200円の商品(部門2、消費税外税対象)を売り、現金で1,000円受け取り、残りをつけにするとき

1 2 00 [-] 2
1,200円 部門 2

1 0 00 [現金
預り
両替] 3
1,000円

掛売

つけ売り(掛売り)

02 1200

0 260

F 260

02	*1200
	*1200 小計
	*60 外税
	*1260 計
	*1000 現
	*260 掛



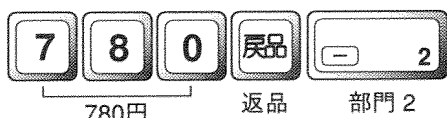
- 現金での支払いとは別に集計されます。
- 小計金額を表示するときは、**掛売**の前に**小計**を押してください。

便利な使いかた

●●●返品があったときは

例

780円の商品(部門2、消費税外税対象)の返品があったとき



780円

返品

部門 2



返金額の登録

02 -780

[819

02	-780	戻
	-780	小計
	-39	外税
	*819	前



- 消費税も返金されます。
- クレジットカードなどで支払われた商品、掛売りの商品の場合は、**現金預り/同替** のかわりに **信用**、**掛売** を押してください。

便利な使いかた

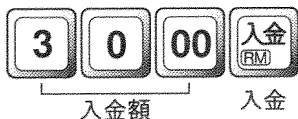
●●●売上と関係ない現金の出し入れがあったときは

つり銭用の現金やつけの入金があったとき、新聞代などの集金があったときは、次のようにして引出しを開けます。 **万円** も使用できます。

入金があったとき

例

つり銭用の用意のために現金3,000円を引出しに入れるとき



入金額

入金

3000

*3000 入

出金があったとき

例

電気代の集金があり、現金9,800円を引出しから出すとき



出金額

出金

9800

*9800 払

●●●クレジットカードの番号などを印字したいときは

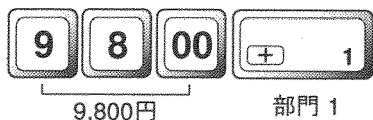
クレジットカードの番号やお客様の顧客番号などを営業記録に残し、番号をレシートに印字できます。番号は8桁まで入れられます。(合計器には加算されません。)

例

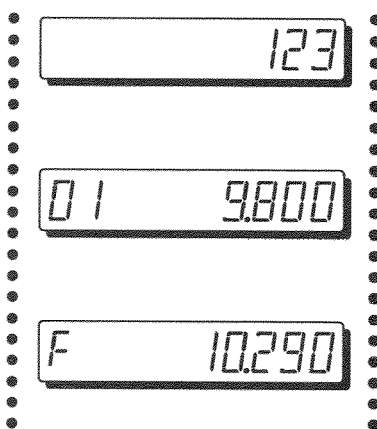
顧客番号123のお客様に9,800円の商品(部門1、消費税外税対象)を売るとき



顧客番号 番号印字



9,800円 部門1




```
00000123#
01 *9800
   *9800 小計
   *490 外税
*10290 現
```



便利な使いかた

●●●レシート発行停止中にレシートを発行するには

レシートの発行を必要なときだけおこなうことができます。

レシートを発行しないようにしているとき、一つの取引が終わったすぐ後で  を押すと、レシートが発行されます。このレシートのことを「事後レシート」と呼びます。



- レシートが発行できる状態で、 を押すと、レシートの発行を停止します( 23ページ)。
- 事後レシートには、記録紙に印字された番号と同じ一連番号が印字されます。



●●●計算機能を使うには

商品の登録終了後や、登録途中に計算機能を使うことができます。(印字はされません。)

計算機能を使うときは、**支払 CAL** を2回押し、計算モードに入ります(計算モードの指定)。計算モードに入ると、表示部に“**C**”が表示されます。計算モードのときに **支払 CAL** を1回押しと、計算モードが解除されます。

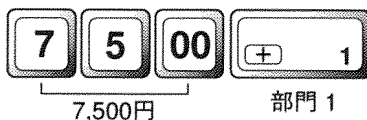


- 計算できる範囲は、±99,999,999です。
- 「選択機能の設定②」で計算機能の使用を“しない”に設定しているとき、計算機能は使えません。

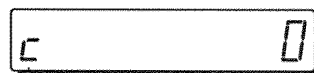
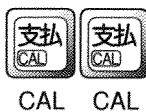
例

7,500円の商品(部門1、消費税外税対象)を売り、3人で割り勘にするとき

商品の登録

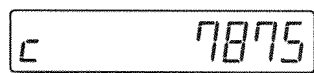


計算機能を使う
(計算モードの指定)

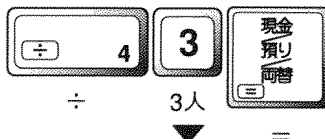


計算モード
での操作

小計額(7,875
円)の呼び出し



割り勘額の
計算



商品の登録に戻る
(計算モードの解除)



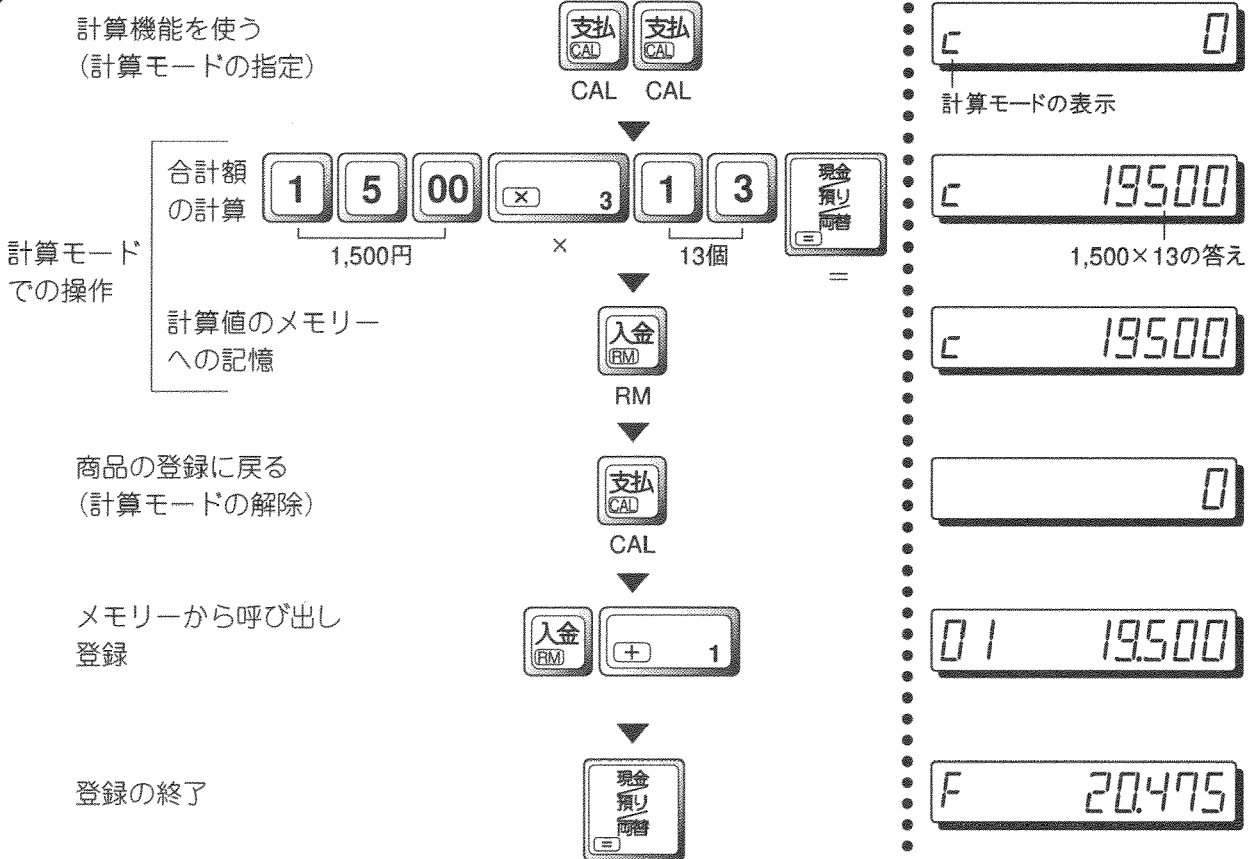
登録の終了



- **支払 CAL** を2回押しして計算モードに入ると、それまで登録した分の小計額がメモリーに記憶されます。
- 数字を打ちまちがえたときは、**CL** を押します。
- 計算途中で引出しを開けたいときは、計算モードのまま **支払 CAL** を押します。
- 計算途中で計算をやめ、商品の登録に戻るときは、**支払 CAL** を押します。

例

1,500円の商品(部門1、消費税外税対象)を13個売った計算を計算機能を使って合計して売るとき



- メモリー計算をするときには を使います。

を押すと、打ち込まれた値や計算結果がメモリーに記憶されます。もういちど を押すと、記憶させた値が呼び出されます。

例：900×3と500÷5の合計を求める

..... 900×3を計算

..... 計算結果2700を記憶

..... 500÷5を計算

..... 上記の結果100に記憶させた値2700を加える

いちどにひとつの値しか記憶できませんので、ご注意ください。記憶させた値を呼び出すために を押したあと、続けてもういちど を押すと、値がクリアされます。

- 計算値を登録で使うときには、 を押しメモリーに記憶させてください。 を押さずに計算モードから登録に戻ると、計算値はクリアされて、登録で使うことができません。
- いったん を押してメモリーに記憶させた計算値をクリアするときは、計算モードを解除するために、 を2回押します。
- メモリーに記憶された数値に小数が含まれているとき、登録に戻って呼び出した数値は、小数点以下が切り捨てられます。

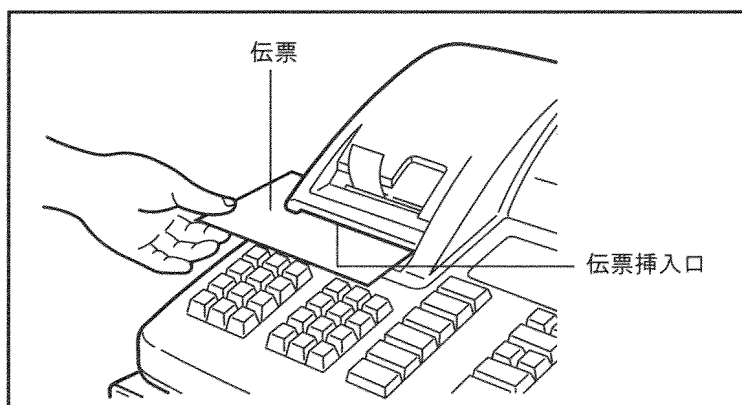
便利な使いかた

●●●● 認証印字をするには


売上合計額の認証印字を、登録モード、 (レジマイナス)モードで、おこなうことができます。


、、、、 を押した後、伝票の印字面を下にして伝票を伝票挿入口に挿入し、 を押してください。


認証印字はあらかじめ設定した回数までおこなうことができます。ただし、認証印字強制に設定してあるときは、設定した回数の認証印字が強制されます。



- 伝票が奥まで入っていないかったり、右端いっぱい位置していないときは、正しく印字できないことがありますから注意してください。

- 認証印字が強制されているときは( 60ページ)

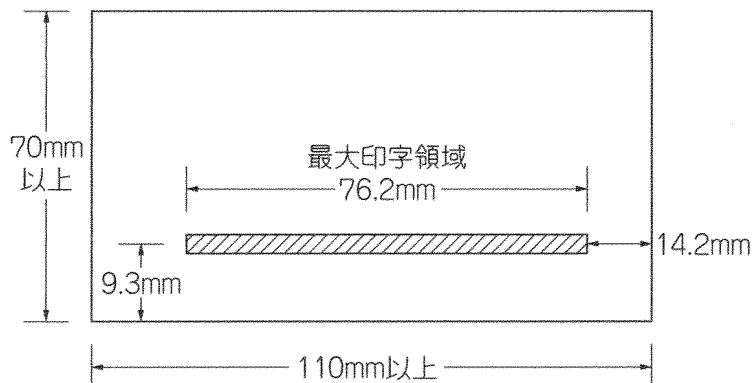
表示部に“”が点灯し、認証印字をおこなうまで他のキー操作を受けつけません(エラー状態になります)。

 を押して、認証印字をおこなってください。

認証伝票用紙の規格

伝票用紙は次の規格にしたがって作成してください。

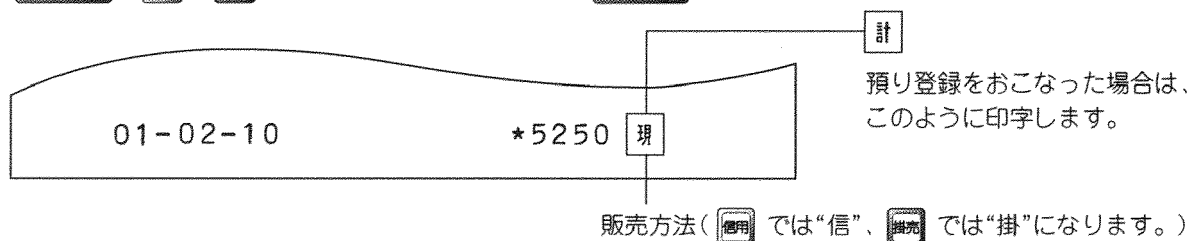
- (1)用紙の種類 普通紙：厚さ0.09~0.14mm
- (2)寸法 幅110mm以上×高70mm以上
- (3)印字位置



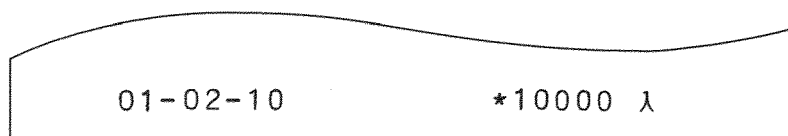
- 規格外用の紙を使用しないでください。故障の原因になります。

認証印字例

- ① 、、を押した後の印字例(例は、を押したとき)



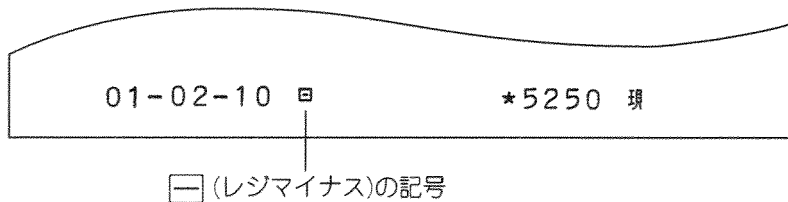
- ② 入金登録後の印字例



- ③ 支払い登録後の印字例

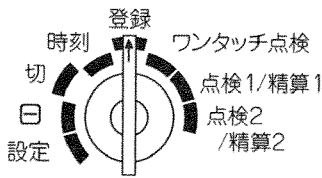


- ④ (レジマイナス)での印字例



- 西暦の表示・印字を4桁に設定している場合でも、認証印字は、常に年が下2桁で印字されます。

訂正のしかた



登録途中での訂正は、機能切りかえスイッチの位置を“登録”のままおこないます。

●●●数字を打ちまちがえたときは

を押し、正しく打ちなおします。

●●●登録の直後にまちがいに気付いたときは・・・

直前訂正

部門、値引、割引/割増、返品を登録した直後に、その金額や部門、割引率、割増率、値引額などのまちがいに気付いたときは、 を押します。 を押す直前の登録が取り消されます。

例

1,250円の商品(部門1、消費税外税対象)を、誤って1,280円と登録したとき



誤った登録



訂正



正しい登録



01	*1280	
01	-1280	訂
01	*1250	小計
	*1250	
	*62	外税
	*1312	現

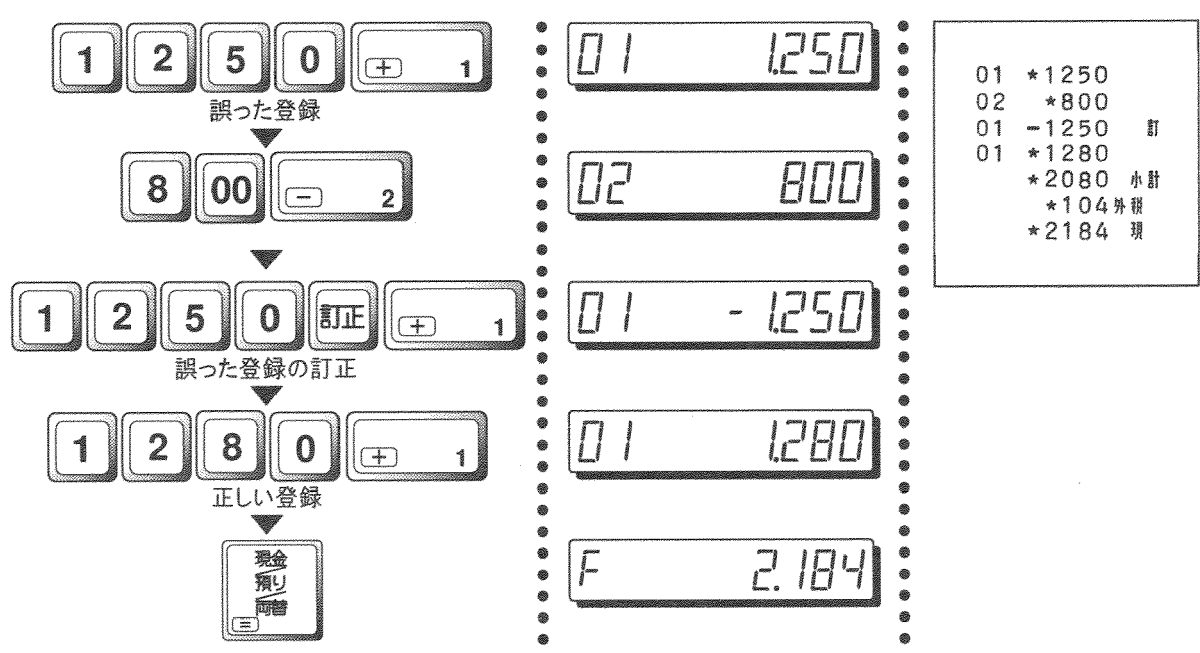
訂正のしかた

●●●登録の途中でまちがいに気付いたときは… 指定訂正

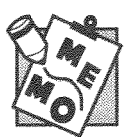
すでに登録している内容のまちがいに気付いたときは、**現金/預り/消費**、**返品**、または**消売**を押すまえに、取り消したい金額、**訂正**、取り消したい部門キーの順に打ち込みます。そのあとで、正しく登録しなおします。

例

1,250円の商品(部門1、消費税外税対象)と、800円の商品(部門2、消費税外税対象)を登録したあと、最初の登録を1,280円に訂正するとき



訂正のしかた



● 返品の登録途中でまちがいに気付いたときは、取り消したい金額、**返品**、**訂正**、取り消したい部門キーの順に打ちなおしてください。

●●●登録した内容を取り消すときは..... **全項目取消**

すでに登録している内容をすべて取り消すときは、**現金/預り/両替**、**借入**、または**掛売**を押すまえに、**小計**を押してから**訂正**を押します。

例

1,000円の商品(部門1)と、2,000円の商品(部門2)を登録したあと、すぐに取り消すとき

訂正のしかた

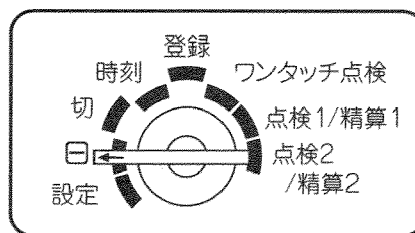
●●●レシートの発行後に取り消したいときは... **レジマイナス**

誤ったレシートを発行したら、このレシートを残しておき正しい登録を最初からやり直します。

1 機能切りかえスイッチを管理者鍵(MA)で“**—**”の位置にします。

このとき、表示部の10個の小数点がすべて点灯し、レジマイナスモードに入ります。

2 誤ったレシートの通りに打ち込みます。



誤ったレシート

01	*780
02	*220
	*1000 小計
	*50 外税
	*1050 現
000-0021	

取り消し後のレシート

01	*780
02	*220
	*1000 小計
	*50 外税
	*1050 現
000-0022	

レジマイナスを表す記号



ご注意

● 誤ったレシートと、これを取り消したときのレシートは、取り消しの証拠になります。必ず保管しておき、点検・精算時のチェックに反映させてください。

● レジマイナス操作をしたあとは、機能切りかえスイッチを必ず“登録”の位置に戻してください。



● レシートを発行しない状態でお使いの場合は、“**掛入**”を押して誤ったレシートを発行しておくことで取り消しの確認ができます。

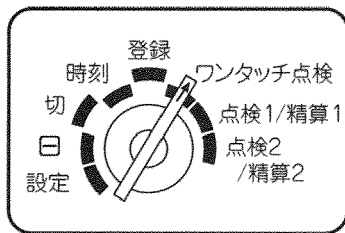
● “**—**”の位置での登録は、“登録”の位置とは逆にマイナスの登録になります。

● 取り消し金額は専用合計器に加算されますから、精算の際、一日の取り消し額を確認することができます。

売上の確認 (点検)

●●●営業中に売上を確認するには.....ワンタッチ点検

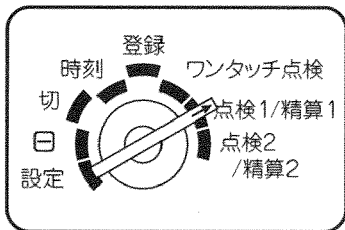
営業中に、部門ごとの売上、時間帯ごとの売上、売上高、引出し内の金額を表示で確認できます。
ワンタッチ点検をおこなっても設定内容や登録内容は変わりませんので、必要に応じて何回でも操作できます。
(この点検操作は表示のみで、レポートは印字されません。)



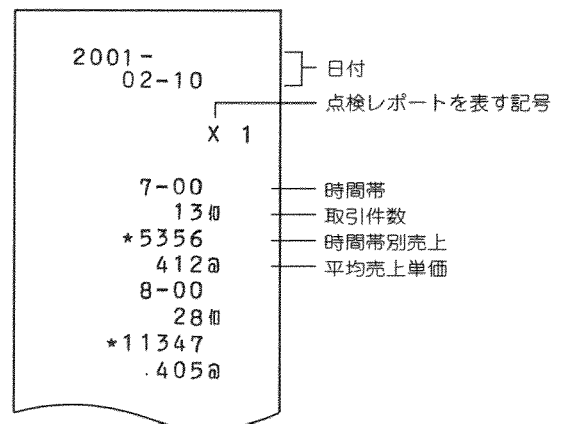
- 部門売上の確認 → [1] ~ [5] (部門キー)
- 時間帯別売上の確認 → [0] ~ [2] [3] (時間帯) [#時刻]
- 売上高(総合計)の確認 → [小計]
- 引出し内の金額の確認 → [現金] [預り] [両替]

●●●時間帯ごとに売上を集計するには.....時間帯別集計

前回、時間帯別売上高を精算してからの1時間ごとの売上集計を、レポートで確認できます。



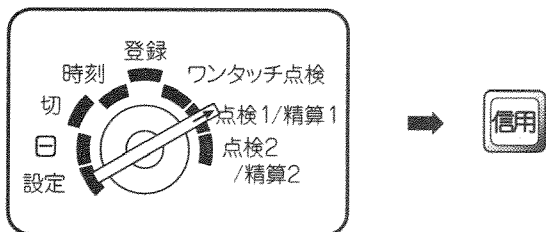
- 前回、時間帯別売上高の精算をおこなってから24時間以上たっていると、時間帯別売上点検レポートには、前日の同じ時間帯の売上が加算されます。
- 右の印字見本は、平均売上単価を印字するように設定している場合のものです。



売上の確認 (点検)

●●●取引別に売上を集計するには.....取引別点検

取引別に登録内容を集計してレポートで確認できます。



● 下の印字見本は、部門構成比率を印字するように設定している場合のものです。

2001-02-10	日付
X 1	点検レポートを表す記号
90 和	
*108170 計	①プラス部門合計
100.00 %	
-3500- 計	②マイナス部門合計
-80 和	③小計値引の回数と合計金額
-90 %	④小計割引/割増の回数と合計金額
*104500 小計	⑤売上小計 ①+②+③+④
*74210 外小計	⑥外税1課税売上合計
*3708 外租	⑦外税額1合計
*17700 内小計	⑧内税1課税売上合計
*842 内租	⑨内税額1合計
*11090 外小2	⑩外税2課税売上合計
*776 外租2	⑪外税額2合計
*5000 内小2	⑫内税2課税売上合計
*327 内租2	⑬内税額2合計
*5653 租計	⑭消費税額合計 ⑦+⑨+⑪+⑬
-3500 非租計	⑮消費税非課税売上合計
-44	⑯端数調整額合計
*103287 統計	⑰税抜き純売上合計 ⑤-⑨-⑬+⑯
*108940 計	⑱総売上合計 ⑰+⑭

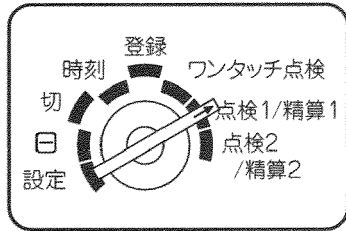
1 和	⑲個々の商品に対する値引の回数と合計金額
-20 和	⑳個々の商品に対する割引/割増の回数と合計金額
-410 %	㉑返品登録の回数と合計金額
*680 和	㉒直前訂正、指定訂正の回数と合計金額
*1660 計	㉓レジマイナスの回数と合計金額
*2625 和	㉔全項目取消回数と合計金額
*2500 小計	㉕入金の回数と合計金額
*30000 入	㉖支払いの回数と合計金額
*10000 租	㉗現金売りの回数と合計金額
*90935 期	㉘信用売りの回数と合計金額
*12300 借	㉙つけ売り(掛売り)の回数と合計金額
*5920 掛	㉚認証印字の回数
1 和	㉛両替の回数と*合計金額
3 替	㉜1万円札の枚数
*15000 替	㉝取引件数
2 和	㉞現金在高
40 和	㉟信用売りによるつり銭の合計額
*110720 期計	
*215 借効	

*合計金額は、両替金額の入力が可能なときのみ印字します。

売上の確認(点検)

●●●項目別に売上を集計するには..... 日計全項目点検

部門や取引別の登録内容を集計してレポートで確認できます。



ご注意

● 右の印字見本は、部門構成比率を印字するように設定している場合のものです。

2001-02-10	日付
X 1	点検レポートを表す記号
01	部門番号
710	売上点数
*74380	売上金額
68.76 %	部門売上金額構成比率 (部門売上金額 ÷ プラス部門売上合計金額) × 100
02	部門番号
130	売上点数
*17700	売上金額
16.36 %	部門売上金額構成比率

900	売上点数
*108170	売上金額
100.00 %	計
] プラス部門合計	
05	部門番号
10	売上点数
-3500	売上金額

10	売上点数
-3500	売上金額

10	売上点数
-80	売上金額
10	売上点数
-90 %	構成比率
*104500	小計
] マイナス部門合計	
取引別売上 (43ページ)	
10	売上点数
3替	替
*15000替	替
20	売上点数

400	売上点数
*110720	現計
*215	借込

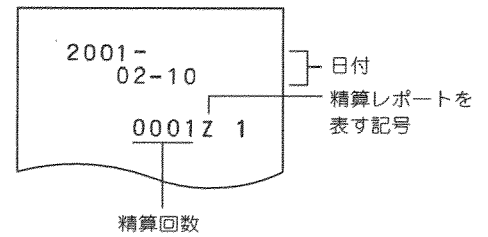
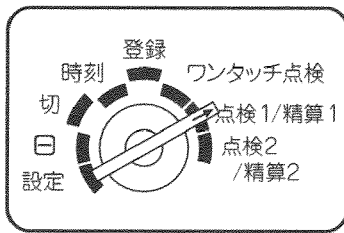
売上の確認(点検)

売上の精算 (精算)

一日の終わりには、必ず精算をしてください。精算すると、レポートが印字され、レジスタに記憶されている取引内容がクリアされ、ゼロになります。

精算しないと、次の日の売上に混ざってしまいます。

●●●全項目の売上を精算するには…………… 日計全項目精算



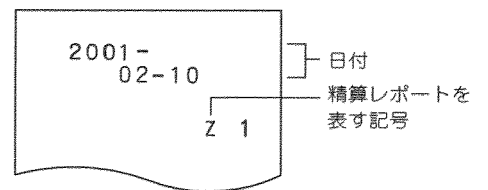
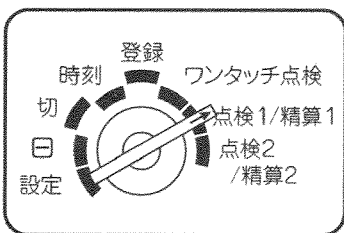
これ以降のレポートの内容は、点検レポートと同じです(44ページ)。



- 精算しても、一連番号、精算回数はゼロに戻りません。

売上の精算(精算)

●●●時間帯ごとの売上を精算するには…………… 時間帯別精算



これ以降のレポートの内容は、点検レポートと同じです(42ページ)。



- 毎日、時間帯別売上を精算しないと、時間帯別売上レポート上で、前日までの売上が当日の売上に混ざってしまいます。

期間の集計 (点検 / 精算)

日計売上とは別に、任意の期間(1週間、1カ月など)の売上高を集計した点検・精算レポートが印字できます。期間の集計には、取引別と全項目の期間集計および日計の期間集計があります。

本機では、「期間集計1」と「期間集計2」の2種類の期間集計を印字することができます。たとえば、「期間集計1」を週間集計用に、「期間集計2」を月間集計用にするような使い分けができます。

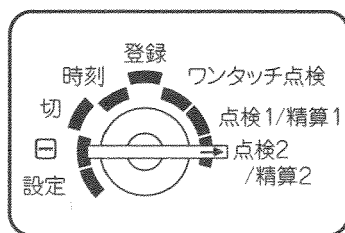


● 期間集計をするには、毎日売上を精算する必要があります。

●●●取引別と全項目の期間集計1をするには

取引別の点検と全項目の点検/精算をおこなうことができます。

前回、期間集計1の全項目精算をおこなってから、今回操作するまでの集計(ある期間分の登録の明細)が印字されます。



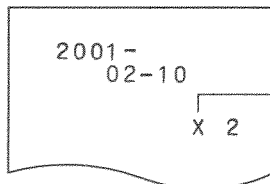
● 取引別



● 全項目



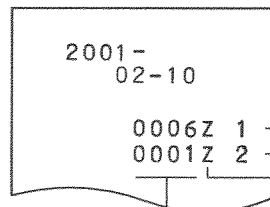
点検レポート



点検レポートを表す記号

これ以降のレポートの内容は、売上確認の点検レポートと同じです(43、44ページ)。

精算レポート



日計精算の回数
期間集計1の精算回数
精算レポートを表す記号

精算回数

これ以降のレポートの内容は、売上確認の点検レポートと同じです(44ページ)。

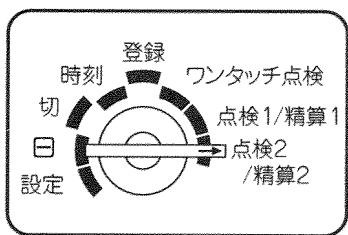
期間の集計 (点検 / 精算)

●●●取引別と全項目の期間集計2をするには

取引別の点検と全項目の点検/精算をおこなうことができます。

前回、期間集計2の全項目精算をおこなってから、今回操作するまでの集計が印字されます。

「期間集計2」は、「期間集計1」とはちがった長さの期間で集計できます。



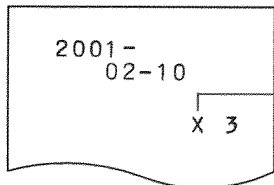
●取引別



●全項目



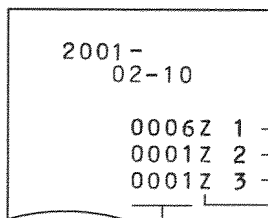
点検レポート



点検レポートを表す記号

これ以降のレポートの内容は、売上確認の点検レポートと同じです(43、44ページ)。

精算レポート



— 日計精算の回数
— 期間集計1の精算回数
— 期間集計2の精算回数
— 精算レポートを表す記号

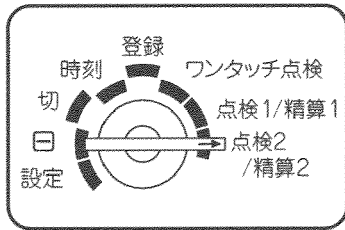
精算回数

これ以降のレポートの内容は、売上確認の点検レポートと同じです(44ページ)。

●●●●日計の期間集計をするには

前回、日計の期間集計をおこなった日の翌日から、今回操作する日までの1日ごとの取引件数と売上金額が印字されます。

通常、1ヵ月に1回おこなってください(このレジスタは、40日分まで日計を集計できます)。



⇒ **小計** (点検)

⇒ **小計** (精算)

点検レポート

2001-02-10	X 2	点検レポートを表す記号
01-01	60	取引件数
*139607	計	売上金額
01-02	72	
*151048	計	

精算レポート

2001-02-10	Z 2	精算レポートを表す記号
------------	-----	-------------

これ以降のレポートの内容は、左の点検レポートと同じです。

01-30	65	
*129091	計	
01-31	87	
*160294	計	

期間の集計(点検/精算)

お店に合わせた設定

機能切りかえスイッチの位置を“設定”にします。

●●●初期設定について

本書では、ご購入時の設定内容(初期値)に をつけて説明しています。このままの機能で使用する場合は、設定し直す必要はありません。

●●●消費税の設定 ① 税率および免税点

本機は、2種類の税(消費税1および消費税2)を自動的に計算登録する機能を備えています。ご購入時には消費税1として5%の消費税が設定されています。2種類の税率が施行される場合は、消費税2を設定することで、使いわけができます。

また、本機は、改正される税率や免税点をその新税(税率)施行日とともにあらかじめ設定しておき、設定された更新日になると自動的に設定内容を更新する消費税メンテナンス機能を備えています(51ページ)。

例 消費税1を5%、免税点を0円に設定するとき

消費税1	1
消費税2	2

消費税率の設定の開始

消費税率
5%では、50000になります。
小数点を省略して、小数点以下第4位まで置数してください。
(0.0000%~99.9999%)

免税点
最大99,999円まで設定できます。0円のときは省略して を押してください。

5.0000 #1
0

お店に合わせた設定



- 消費税率と免税点の初期値
 - 消費税1..... 税率：5.0000 (5%)、免税点：0円
 - 消費税2..... 税率：0.0000 (0%)、免税点：0円
 - メンテナンス消費税1..... 税率：0.0000 (0%)、免税点：0円
 - メンテナンス消費税2..... 税率：0.0000 (0%)、免税点：0円
 } 消費税メンテナンス機能の初期値(52ページ)
- メンテナンス消費税1および2は、消費税メンテナンス機能で使用します。設定については、「消費税が改正されるときは(消費税メンテナンス機能)②」(52ページ) をご覧ください。

●●●消費税の設定 ②

合計額および税額の端数処理

合計額の端数(1円~99円)と、消費税額の1円未満の端数について、四捨五入、切り上げなどの処理を選択できます。

例

合計額10円未満の端数を四捨五入し、内税を四捨五入、外税を切り捨てに設定するとき



8 0040502

切り捨て	2
切り上げ	1
四捨五入	0

切り捨て	2
切り上げ	1
四捨五入	0

お店に合わせた設定

nn捨mm入 nn mm	処理内容	処理例	入力例
00 00	端数処理しない		0000
09 09	9円以下切り捨て	:1~9円→0円	0909
99 99	99円以下切り捨て	:1~99円→0円	9999
00 01	1円~9円を10円に切り上げ	:1~9円→10円	0001
10 01	1円~99円を100円に切り上げ	:1~99円→100円	1001
09 10	9捨10入	9捨10入:1~9円→0円、10~99円→100円	0910
0n 0m	n捨m入(n:1~4,m:5~9)	2捨 8入:1~2円→0円、3~7円→5円、8~9円→10円	0208
0n 0m	n捨m入(n+1=m)	4捨 5入:1~4円→0円、5~9円→10円	0405
nn mm	nn捨mm入(n:1~49,m:50~99)	20捨80入:1~20円→0円、21~79円→50円、80~99円→100円	2080
nn mm	nn捨mm入(nn+1=mm)	49捨50入:1~49円→0円、50~99円→100円	4950
0n 00	n捨0入(n:1~4)	4捨 0入:1~4円→0円、5~9円→5円	0400
nn 00	nn捨00入(nn:1~49)	49捨00入:1~49円→0円、50~99円→50円	4900



- 先頭から連続する“0”は省略できます。
上記例：0040502 → 40502

●●●消費税が改正されるときは(消費税メンテナンス機能) ①

税率更新のタイミングと更新日付の設定

消費税が改正される場合、更新日と新しい税率、免税点をまえて設定しておくこと、指定した更新日に自動的に税率と免税点を更新することができます。

消費税メンテナンス機能の設定は、必ず、次の順序でおこなってください。

- ① 更新タイミングと更新年月日を設定します(下記をご覧ください)。
- ② メンテナンス消費税1およびメンテナンス消費税2に、新しい税率と免税点を設定します(52ページ)。

更新のタイミングは、お店に合わせて、2種類のタイミングから選択できます。

- ① 指定した更新日以降に任意のキーを押したときに更新する。
- ② 指定した更新日以降に日計全項目精算をおこなった後で更新する。

例

消費税率および免税点を2002年4月1日に任意のキーを押した時点で更新するに設定するとき

小計	7	⊗	0	0	2	0	4	0	1	小計	現金 預り 所得	7 0020401#
消費税更新日の 設定の開始			更新年月日 (初期値: 00年00月00日)									

税率更新のタイミング	
設定更新日以降に日計全項目精算をおこなった後	1
設定更新日以降に任意のキーを押したとき	0



ご注意

- 税率更新のタイミングを「設定更新日以降に任意のキーを押したとき」に設定する場合、更新日の前日中に登録した取引と登録中に更新日になった取引には、更新前の税率が適用されます。



- メンテナンス消費税1およびメンテナンス消費税2は、ご購入時の設定では、税率0.0000%、免税点0円に設定されています。更新日を設定したときは、必ず新しい税率と免税点の設定内容をご確認ください。

●●●消費税が改正されるときは(消費税メンテナンス機能) ②

税率および免税点の設定

消費税1を更新するときは、メンテナンス消費税1に、新しい税率と免税点を設定します。
 消費税2を更新するときは、メンテナンス消費税2に、新しい税率と免税点を設定します。
 新しい税率と免税点の設定は、税率更新のタイミングと更新日付(☎ 51ページ)を設定してから、おこなってください。

例

メンテナンス消費税1を7%、免税点を0円に設定するとき

小計 9 3 0 7 0 0 0 0 0 0 0

消費税率の設定の開始

メンテナンス消費税1	3
メンテナンス消費税2	4

消費税率
 7%では、70000になります。
 小数点を省略して、小数点以下第4位まで置数してください。
 (0.0000%~99.9999%)

免税点
 最大99,999円まで設定できます。0円のときは省略して「現金預り/閉店」を押してください。

7・0000 #1
 0#



ご注意

- 消費税メンテナンス機能を実行するときは、メンテナンス消費税1とメンテナンス消費税2の両方を必ず設定してください。メンテナンス消費税1とメンテナンス消費税2は、更新日に同時に更新されますので、ご注意ください。

たとえば、消費税1に変更があり、消費税2に変更がない場合でも、メンテナンス消費税2に消費税2と同じ設定をしておかないと、更新日に消費税2の設定が消えてしまいます。

消費税メンテナンス機能を設定しているときは

新税率施行日になると、次のように消費税設定が更新されます。

- ① 消費税1が、メンテナンス消費税1に設定されていた新税率および免税点になります。
- ② 消費税2が、メンテナンス消費税2に設定されていた新税率および免税点になります。
- ③ 税率更新の確認用レシートが発行されます。

税率更新の確認用レシート例

7・0000	#1
0#	
10・0000	#2
0#	

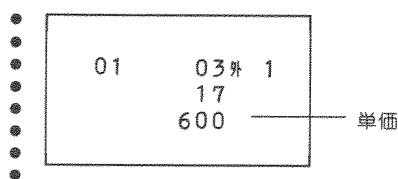
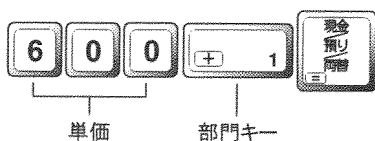
- 更新タイミングは初期設定(更新日に任意のキーを押したときに更新)になります。
- 更新日付はクリアされて、00年00月00日になります。
- メンテナンス消費税1の設定はクリアされて、税率0.0000%、免税点0円になります。
- メンテナンス消費税2の設定はクリアされて、税率0.0000%、免税点0円になります。

●●●部門キーの設定 ① 単価

部門キーに単価を設定すると、部門キーを押すだけで、設定した単価と部門を登録することができます（プリセット登録）。売れ筋商品を設定しておくで、金額の入力を省くことができ、便利です。

例

部門1に600円を設定するとき



- 単価は最大7桁(1円~9,999,999円)まで設定できます。
- 単価を“0円”に設定したときは、プリセット登録ができません。
- 次項の「部門キーの設定②」で単価の登録方法を“オープンのみ”または“禁止”に設定している部門(プリセット登録を認めていない部門)でも、単価を設定すると、自動的にプリセット登録ができるようになります。
- ご購入時、単価は設定されていません。

お店に合わせた設定

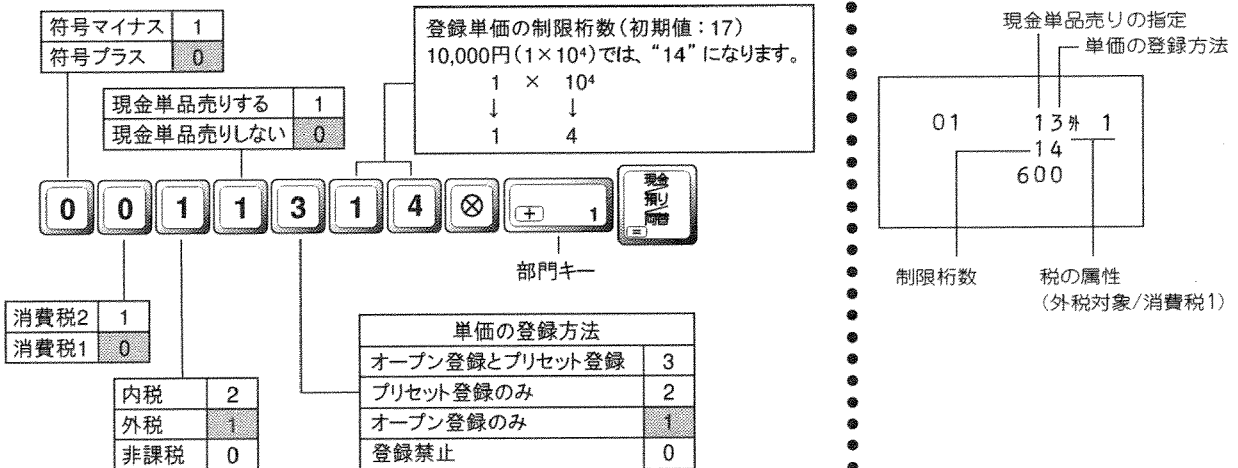
●●●部門キーの設定 ②

プラス部門/マイナス部門、非課税/外税/内税、現金単品売り、登録方法ほか

- 符号のプラス/マイナス
通常の売上を登録するプラス部門、または支払い金額を登録するマイナス部門を設定します。
- 消費税に対する属性
消費税1/消費税2、外税/内税/非課税を設定します。消費税2は、消費税が複数になったときに設定します。
- 現金単品売り
単品で現金売りするときに用いると便利な機能です。現金単品売り指定の部門へ登録をおこなうと、自動的に現金売りとして取引を終了します。ただし、通常の部門登録後、現金単品売りの部門を登録しても、取引は終了せず登録を続けることができます。
- 単価の登録方法
それぞれの部門について単価の登録方法を選択します。単価の登録方法には、置数キーによって単価を打ち込むオープン登録と、あらかじめ設定されている単価を使用するプリセット登録があります。
- 登録単価の制限桁数
登録金額の誤りを防ぐために、登録単価の制限を設定できます。

例

部門1に次の内容を設定するとき
プラス符号(プラス部門)・消費税1・外税課税・現金単品売りする・オープンおよびプリセット登録・登録単価の制限10,000円(1×10⁴)



- 先頭から連続する“0”は省略できます。
上記例: 0011314 → 11314
- 登録単価の制限桁数の設定値は、最大“17”です。ただし、このとき打ち込めるのは9,999,999円までです(ご購入時は、“17”に設定されています)。

お店に合わせた設定

●●● **☹ の設定 ①** **値引額**

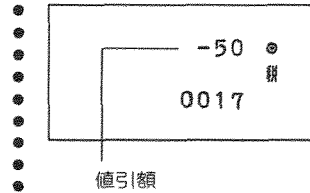
☹ に値引額を設定しておくとし、☹ を押すだけで、その額が値引されます。

例

☹ に値引額50円を設定するとき



値引額
(1~9,999,999円)



- ☹ の設定を取り消すときは、何も打ち込まないで、☹ **現金預り/円端** を押してください。

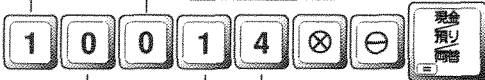
●●● **☹ の設定 ②** **端数値引、計算対象、値引限度額**

例

☹ を端数値引専用キーとしない、単品および小計から値引する、値引限度額10,000円(1×10⁴)に設定するとき

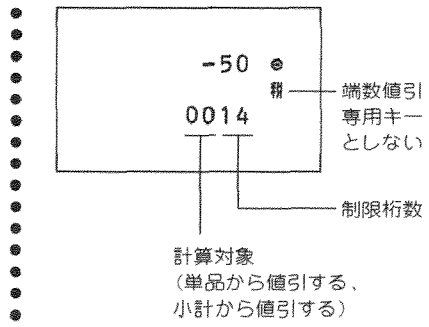
端数値引(課税後の合計からの値引)	
端数値引専用キーとしない	1
端数値引専用キーとする	0

小計から値引	
しない	1
する	0



単品から値引	
しない	1
する	0

値引限度額の制限桁数(初期値:17)
10,000円(1×10⁴)では、“14”になります。
1 × 10⁴
↓ ↓
1 4



- 先頭から連続する“0”は省略できます。
例: 00117 → 117
- 値引限度額の制限桁数の設定値は、最大“17”です。ただし、このとき打ち込めるのは9,999,999円までです(ご購入時は、“17”に設定されています)。
- 単品/小計とも“値引しない”に設定すると、値引登録が禁止されます。

お店に合わせた設定

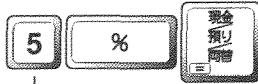
割引率、割増率

% の設定 ①

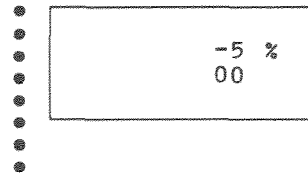
% に割引率または割増率を設定しておく、% を押すだけで、割引や割増が登録できます。

例

% に5%を設定するとき



割引率または割増率
(1~100%)



- 割引か割増かは、下記の「%」の設定②で設定できます。
- 「選択機能の設定①」で小数入力を“可能”に設定している場合は、小数点を省略し、小数点以下第2位まで打ち込んでください(設定範囲：0.01~100.00%)。
- ご購入時、割引率または割増率は0%に設定されています。
- % の設定を取り消すときは、何も打ち込まないで、% 現金預り/割増 を押してください。

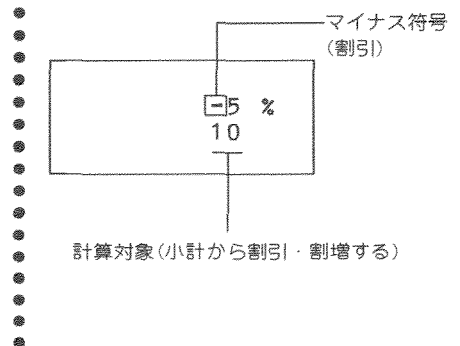
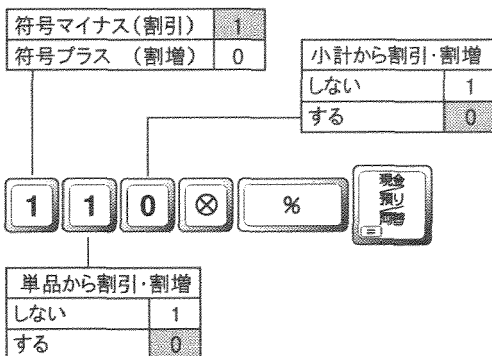
% の設定 ②

割引/割増、計算対象

% に符号(プラス：割増、マイナス：割引)、計算対象(単品/小計)を設定します。

例

% にマイナス符号(割引)、小計からのみ計算すると設定するとき



- 割引率・割増率は、上記の「%」の設定①で設定できます。
- 単品/小計とも“割引・割増しない”に設定すると、割引/割増の登録が禁止されます。

●●● 現金/預り/両替 の設定

現金/預り/両替 について、つり銭支払いの禁止、引出しの開閉および預り金額の入力強制を設定しておくことができます。

例

現金/預り/両替 に“つり銭の支払い可能”、“引出しを開く”、“預り金額の入力強制”を設定するとき

つり銭の支払い	
禁止	1
可能	0

預り金額の入力	
強制	1
非強制	0

0 0 1 ⊗ 小計 現金/預り/両替

引出し	
開かない	1
開く	0

001 現

▼
▼
お店に合わせた設定

●●● 信用、掛売の設定

信用、掛売について、つり銭支払いの禁止、引出しの開閉、預り金額の入力強制および取引限度額の制限桁数を設定しておくことができます。

例

信用に「つり銭の支払い禁止」、「引出しを開く」、「預り金額の入力非強制」、取引限度額100,000円(1×10^5)を設定するとき

つり銭の支払い	
禁止	1
可能	0

預り金額の入力	
強制	1
非強制	0

1 0 0 1 5 ⊗ 信用 現金預り

引出し	
開かない	1
開く	0

取引限度額の制限桁数(初期値:18)
100,000円(1×10^5)では、「15」になります。
 1×10^5
 $\downarrow \quad \downarrow$
 1 5

10015 信



ご注意ください

- 掛売に設定するときは、信用のかわりに掛売を押します。ただし、掛売については、預り金額の入力とつり銭の支払いができませんので、「預り金額の入力」を「強制」に設定したり、「つり銭の支払い」を「可能」に設定しても、設定は無効になります。



- 先頭から連続する“0”は省略できます。
例：00018 → 18
- 取引限度額の制限桁数の設定値は、最大“18”です。ただし、このとき、打ち込めるのは99,999,999円までです(ご購入時は、“18”に設定されています)。

●●● 信用 を押したときのつり銭限度額の設定

預り金額を入れて 信用 を押したときのつり銭限度額が設定できます。

例 信用 を押したときのつり銭限度額を10,000円に設定するとき

小計 3 ⊗ 1 0 0 0 0 小計 現金 預り 専用

信用 を押したときの つり銭限度額の設定の開始 つり銭限度額 (最大8桁、99,999,999円まで)

10000 係数

●●● 入金 (FM)、支払 (CAD) の設定 取引限度額

入金(準備金)、支払い(回収金)の登録制限桁数を設定しておくことができます。

例 支払 (CAD) の取引限度額を10,000円(1×10⁴)に設定するとき

1 4 ⊗ 支払 (CAD) 現金 預り 専用

取引限度額の制限桁数(初期値:18)
10,000円(1×10⁴)では、“14”になります。

1	×	10 ⁴
↓		↓
1		4

14 桁



- 取引限度額の制限桁数の設定値は、最大“18”です。ただし、このとき、打ち込めるのは99,999,999円までです(ご購入時は、“18”に設定されています)。
- 入金 (FM) に設定するときは、上記例の 支払 (CAD) のかわりに 入金 (FM) を押します。

お店に合わせた設定

●●● 認証印字の設定

現金/預り/両替、信用、掛売、入金、支払を押した後の認証印字強制および認証印字回数が設定できます。

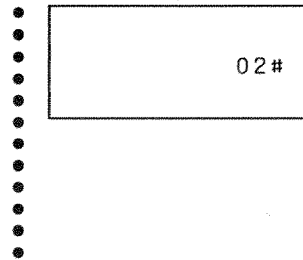
例

認証印字を非強制、認証印字回数を2回に設定するとき

強制	1
非強制	0



印字回数
(0~9、初期値:1)



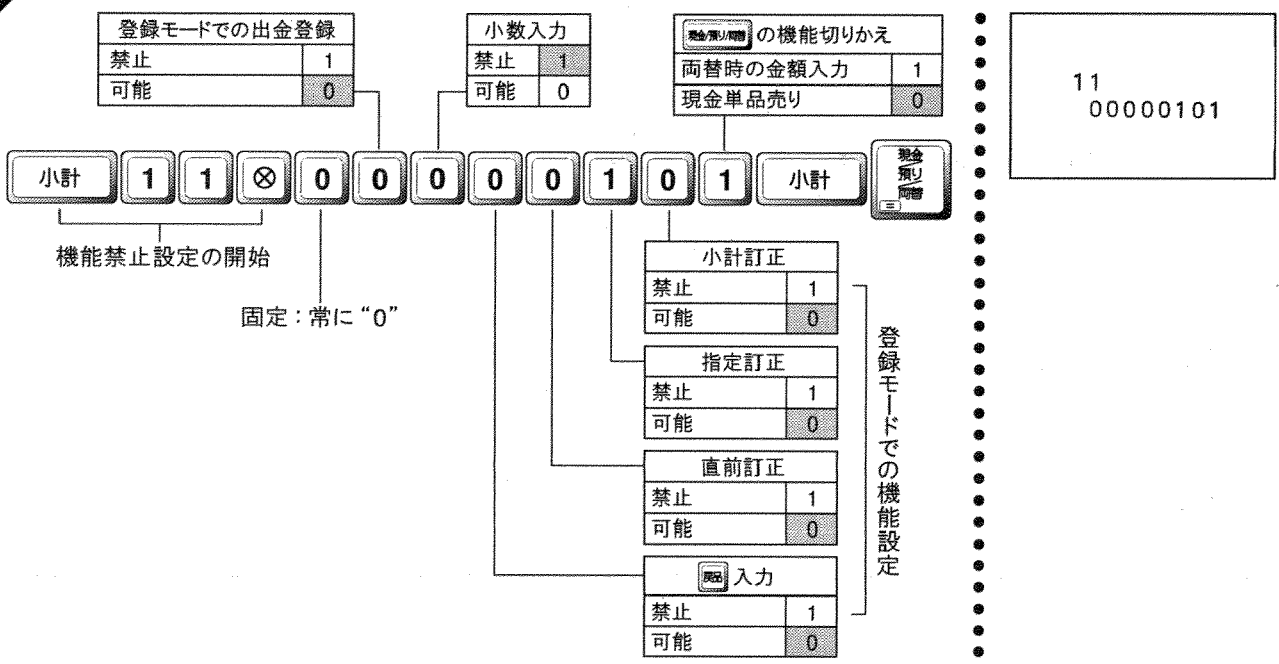
- 認証印字を強制にすると、現金/預り/両替、信用、掛売、入金、支払を押した後に認証印字をおこなわないと、次の登録ができなくなります。
- 認証印字が非強制のときは制限回数として、強制のときは強制回数としてはたります。

●●● 選択機能の設定 ① 機能禁止の設定

レジスタの機能を禁止する設定をおこないます。また、登録操作の最初に、金額を打ち込んで **現金預り/両替** を押した場合の機能を、“部門1への現金単品売り登録”または“両替時の金額入力”のいずれかに切りかえることができます。

例

指定訂正の機能のみを禁止し、**現金預り/両替** の機能を両替時の金額入力に設定するとき



▼
▼
お店に合わせた設定



- 先頭から連続する“0”は省略できます。
上記例：00000101 → 101
- 小数入力を“可能”に設定すると、割引率・割増率と売上個数の小数入力ができます。
- ご購入時は、次のように設定されています。
 - 登録モードでの出金登録 可能
 - 小数入力 禁止
 - 登録モードでの **商品** 入力 可能
 - 登録モードでの直前訂正 可能
 - 登録モードでの指定訂正 可能
 - 登録モードでの小計訂正 可能
 - 現金預り/両替** の機能切りかえ 現金単品売り

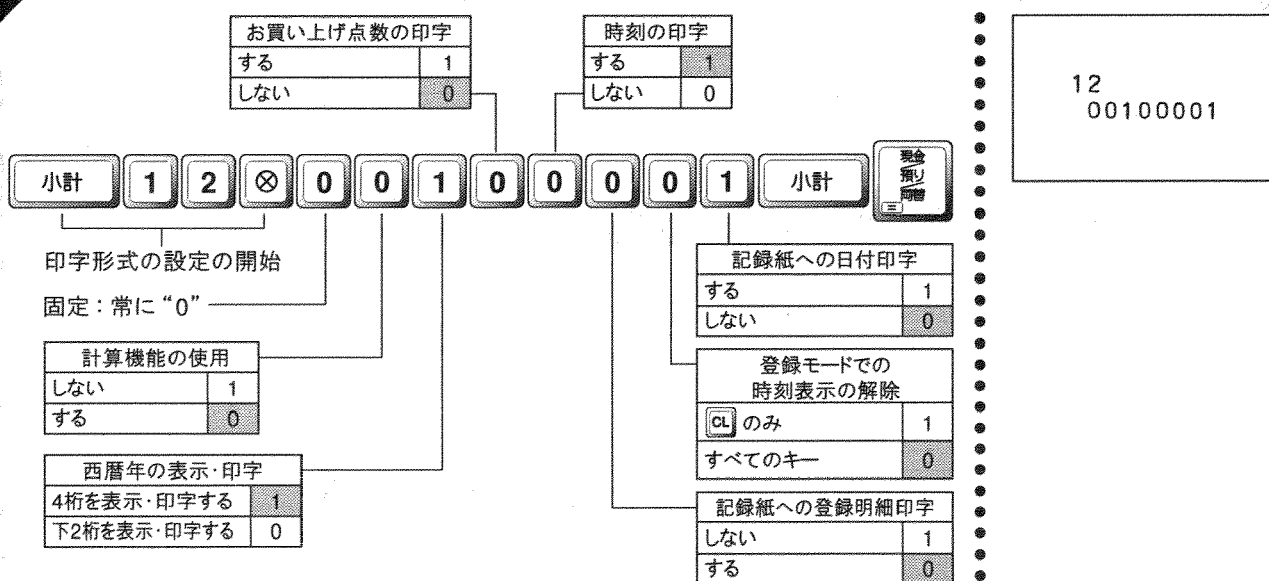
●●● 選択機能の設定 ②

印字形式の設定

お買い上げ点数や時刻などの印字内容を選択します。また、計算機能が使えないように設定しておくことができます。

例

時刻の印字をしない、記録紙に日付を印字するに設定するとき



印字形式の設定の開始

固定：常に“0”

計算機能の使用	
しない	1
する	0

西暦年の表示・印字	
4桁を表示・印字する	1
下2桁を表示・印字する	0



- 先頭から連続する“0”は省略できます。
上記例：00000001 → 1
- 「計算機能の使用」を“しない”に設定すると、登録モードで を2回押しても計算モードに入りません。
- 「記録紙への日付印字」を“する”に設定すると、登録・ ・設定モードでの登録の際に、記録紙へ日付を印字します。
- ご購入時は、次のように設定されています。

計算機能の使用	使用する
西暦年の表示・印字	4桁を表示・印字する
お買い上げ点数の印字	印字しない
時刻印字	印字する
記録紙への登録明細印字	印字する
登録モードでの時刻表示の解除	すべてのキーで解除
記録紙への日付印字	印字しない

お店に合わせた設定

●●● 選択機能の設定 ③ 点検・精算レポートのゼロスキップ設定

点検・精算レポートに印字する合計金額や訂正回数などがゼロのとき、初期設定では、その項目と数値が印字されません(ゼロスキップされます)。

合計金額や訂正回数などがゼロのときでも、その項目と数値を印字するように変更することができます。

例

日計の期間集計のレポートのみ“ゼロスキップしない”に設定するとき

固定：常に“0”

小計 1 3 ⊗ 0 0 0 0 0 0 0 0 1 小計 現金 預り 消費

レポートのゼロスキップ 設定の開始

固定：常に“0”

日計の期間集計	
ゼロスキップしない	1
ゼロスキップする	0
時間帯	
ゼロスキップしない	1
ゼロスキップする	0
部門	
ゼロスキップしない	1
ゼロスキップする	0
取引別	
ゼロスキップしない	1
ゼロスキップする	0

13
00000001

お店に合わせた設定



- 先頭から連続する“0”は省略できます。
上記例：00000001 → 1
- ご購入時は、すべて“ゼロスキップする”に設定されています。

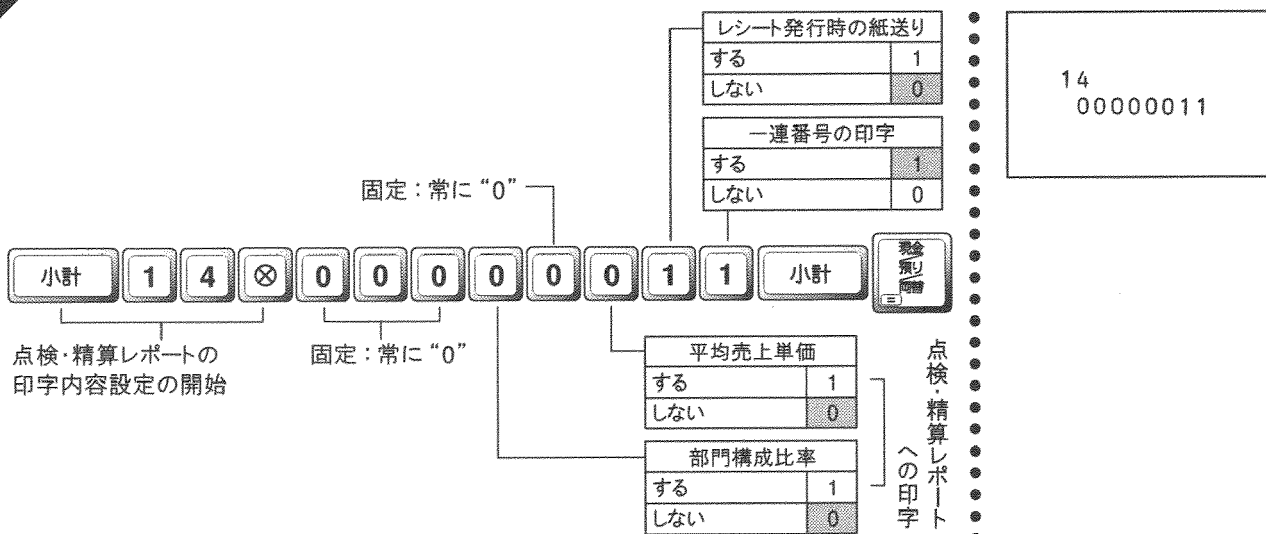
●●● 選択機能の設定 ④

点検・精算レポートの印字内容の設定

点検・精算レポートへの印字内容、レシート発行時の自動紙送り、一連番号のレシートと記録紙への印字を設定します。

例

レシート発行時の紙送りをするに設定するとき



- 先頭から連続する“0”は省略できます。

上記例：00000011 → 11

- 「レシート発行時の紙送り」を“する”に設定すると、紙送りによって、合計額の前後に一行ずつ空きを作ります。

紙送りしない場合

```

2001-
  02-10

01 *500
    *500 小計
    *25 外税
    *525 現
000-0172
  15-00
    
```

紙送りする場合

```

2001-
  02-10

01 *500
    *500 小計
    *25 外税
    *525 現

000-0174
  15-01
    
```

- ご購入時は、次のように設定されています。

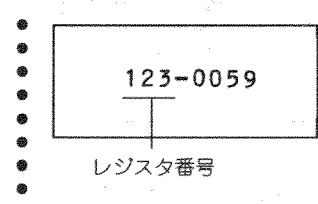
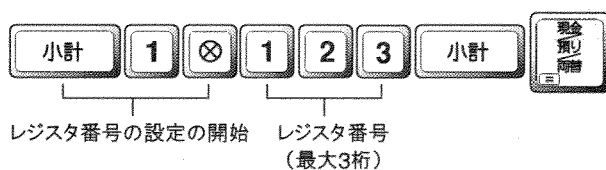
部門構成比率の印字 印字しない
 平均売上単価の印字 印字しない
 レシート発行時の紙送り 紙送りしない
 一連番号の印字 印字する

●●●レジスタ番号の設定

レジスタが複数あるとき、区別するためにレジスタ番号を設定します。

例

レジスタ番号“123”を設定するとき



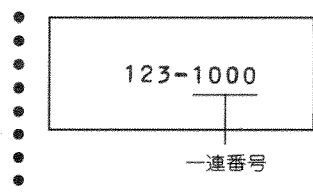
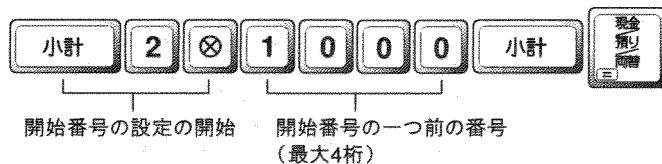
- レジスタ番号を0に設定するときは、 で設定できます。

●●●一連番号の設定

取引番号を何番からスタートさせるか設定します。

例

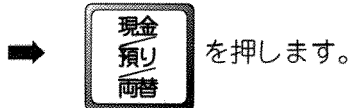
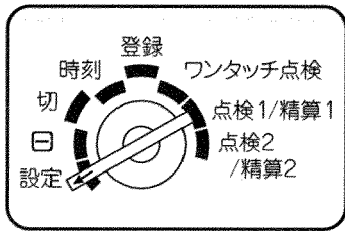
一連番号を“1001”からスタートするとき



- スタートさせたい一連番号の一つ前の番号を設定してください。
- 精算をおこなっても一連番号はスタート番号に戻りません。毎日同じ番号でスタートさせる場合は、開店前に設定しなおしてください。

●●●設定内容の点検

機能切りかえスイッチを“設定”の位置に合わせてください。



設定点検の印字例

部門番号	01	13%	1	現金単品売りの指定
符号	□	600	14	単価の登録方法
なし：プラス符号 -：マイナス符号	02	01%	1	消費税の課税対象
	03	01%	1	消費税の種類
	04	01%	1	登録制限桁数
		17	0	単価
		17	0	外：外税 内：内税 非：非課税
		17	0	1：消費税1 2：消費税2
符号	□	50	0	現金単品売りの指定
値引の計算対象(単品/小計)	0014	0	0	単価の登録方法
符号	□	5	%	消費税の課税対象
なし：割増(プラス) -：割引(マイナス)	10	18	入	消費税の種類
	14	14	払	登録制限桁数
	001	14	掛	単価
	10015	001	掛	消費税の課税対象
	00018	10015	信	消費税の種類
	10000	00018	掛	登録制限桁数
		10000	信	単価
		5・0000	0	消費税の課税対象
		0・0000	0	消費税の種類
		7・0000	0	登録制限桁数
		0・0000	0	単価
		7 0020401	0	消費税の課税対象
		8 0040502	0	消費税の種類
設定①	11	00000101	0	登録制限桁数
設定②	12	00100001	0	単価
設定③	13	00000001	0	消費税の課税対象
設定④	14	00000011	0	消費税の種類
		02	#	登録制限桁数

お店に合わせた設定

消耗品の補充と交換

●●●消耗品について

XE-A235Sには、次の消耗品が用意されています。このレジスタをお買い上げいただいた販売店でお買い求めください。

1. ロール紙(5巻/1パック)
品番 : ROL-P-6A
2. インキローラ
XE-A235S専用インキローラ
品番 : TY-124A-B
3. 店名スタンプ用補充インキ
品番 : TY-0301B (5cc黒色、染料系インキ)
TY-0302B (10cc黒色、染料系インキ)



- 防滴キーボードカバーも用意しています。お買い上げの販売店にお申しつてください。(有償)

●●●ロール紙の交換のしかた

ロール紙の赤い部分が出てきたときは、ロール紙が残り少なくなっています。古いロール紙を送り出し、新しいロール紙に交換してください。(☞ 68ページ)

ロール紙は必ず当社推奨のものをご使用ください。
推奨以外のロール紙をご使用になりますと、紙づまりを起こすなど、故障の原因となります。



- 推奨ロール紙
 - 紙質 : 上質紙
 - 紙幅 : 44.5±0.5mm
 - 外径最大 : 80mm
 - 紙厚 : 0.06~0.09mm
 - 用紙重量 : 52.3~64.0 g/m² (44~55kg/1000枚/788×1091mm)

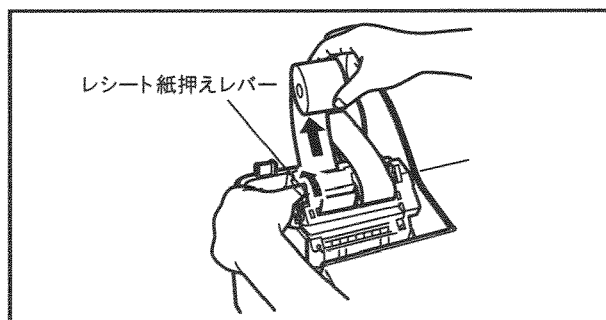


ご注意


- 本機をご使用になるときには、必ずロール紙を取り付けてお使いください。
取り付けずにご使用になりますと、プリンタ故障の原因となります。

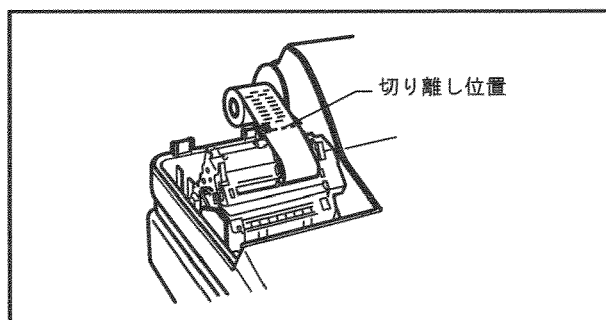
① レシート紙を取り出す

- ① プリンタカバーを取り外します。
- ② レシート紙押えレバーを押し下げて、ロール紙収納箱に残った古いロール紙を矢印の方向に引き抜いてください。

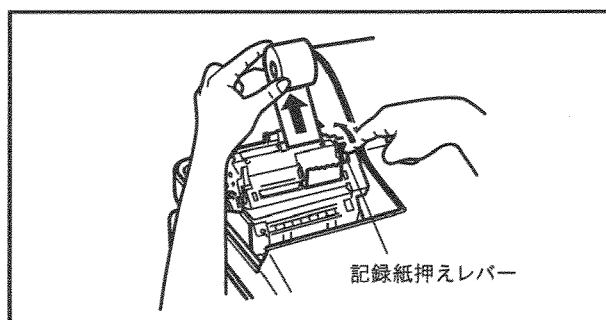


② 記録紙を取り出す

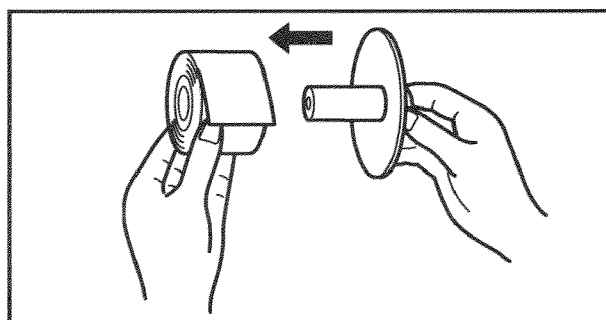
- ①  を押し、記録紙を数行送ってから、ロール紙を切り離し、巻取軸を軸受けから取り外します。



- ② 記録紙押えレバーを押し下げて、ロール紙収納箱に残ったロール紙を引き抜いてください。



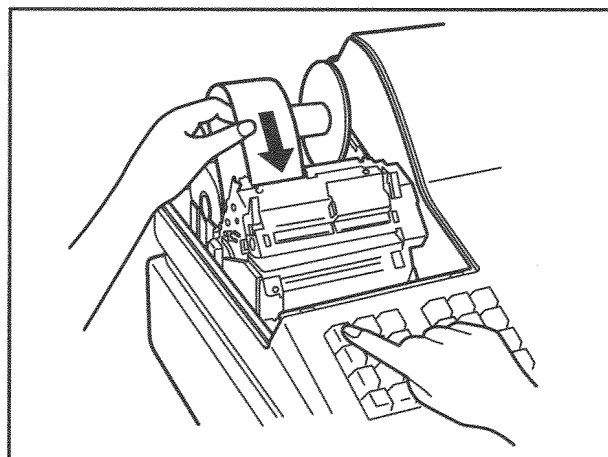
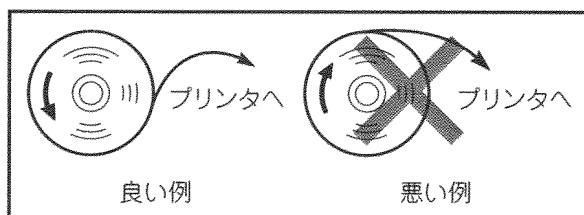
- ③ 巻取軸から記録紙を取り外します。



③ レシート紙を入れる

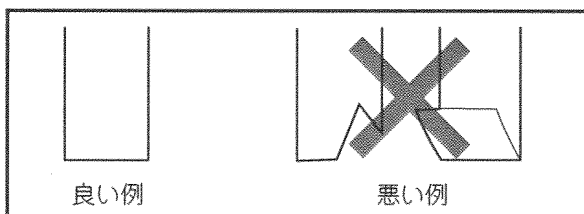
- ① プリンタカバーを取り外します。
- ② セット方向に注意して、ロール紙をロール紙収納箱の中に落とし込みます。

ロール紙の入れかた




- ③ ロール紙の先端をまっすぐ平らに切り、プリンタのロール紙挿入口(左側)へ、まっすぐ奥まで差し込みます。

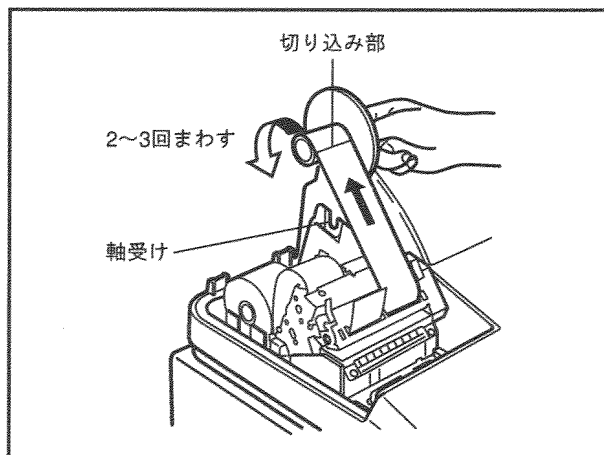
ロール紙の先端処理





- ④  を押して、必要な長さを送り出します。

④ 記録紙を入れる

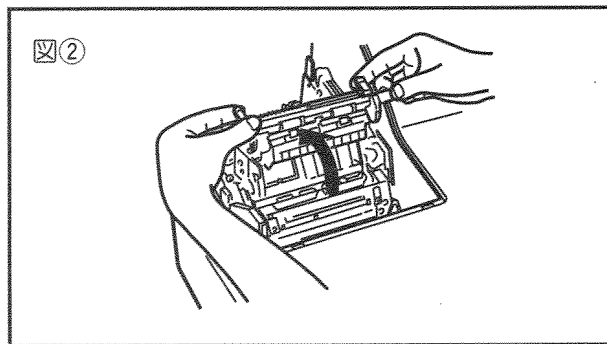
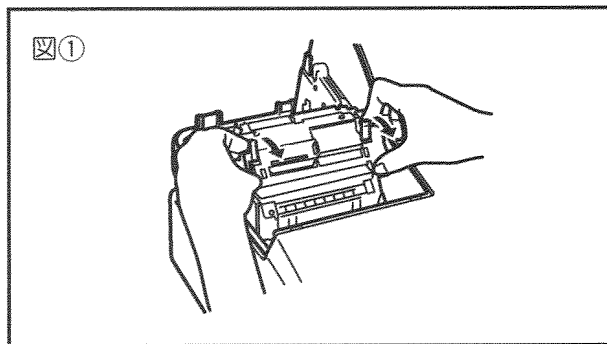
- ① レシート側と同じ方法でロール紙をロール紙挿入口(右側)へ差し込み、 を押して、必要な長さを送り出します。
- ② 送り出されたロール紙の先端を巻取軸の切り込み部に差し込み、2~3回巻き付けてから巻取軸を軸受けに取り付けてください。



●●●紙づまりのときは

ロール紙が紙づまりを起こし、、を押しても送られなくなったときは、次の方法で取り除いてください。

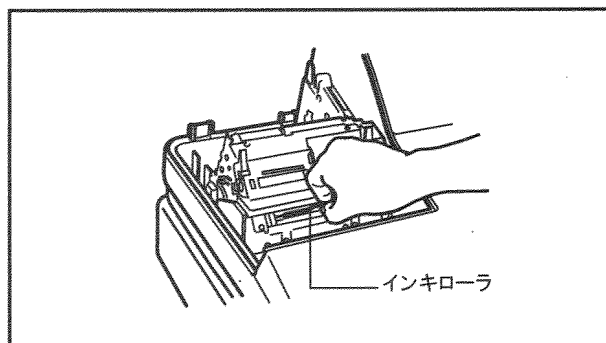
- ① プリンタカバーを取り外します。
- ② レシート紙押えレバーと記録紙押えレバーを同時に手前(図①の矢印方向)に引きながら、プリンタ上部を持ち上げ(図②の矢印方向)ます。
- ③ 紙づまりを取り除きます。
- ④ プリンタ上部をそっと下ろし、カチッと音がするまで押して閉じます。
- ⑤ ロール紙を正しく入れ直します。
- ⑥ プリンタカバーを取り付けます。



●●●インキローラの交換のしかた

印字が不鮮明になってきたら、新しいインキローラに交換してください。

- ① プリンタカバーを取り外し、レシート側・記録紙側ともにロール紙を取り出します。
- ② インキローラを引き出します。
- ③ 新しいインキローラを取り付けます。
- ④ ロール紙を入れて、プリンタカバーを取り付けます。

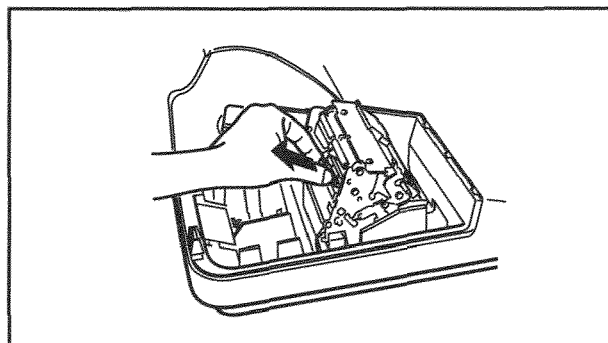


- インキローラは当社指定のものをご使用ください。指定外のインキローラを使用されますと、故障の原因となります。
- 開封後は、インキローラの表面にゴミやホコリがつかないように注意し、早めに取り付けてください。
- 長期間保存していると、インキが乾きインキ寿命が短くなりますので、なるべく早くご使用ください。
- 長期間保存する場合は、密封できる箱に入れ、日光の当たらない涼しい場所に保管してください。
- 高温・多湿の場所、および直射日光の下に長時間放置しないでください。

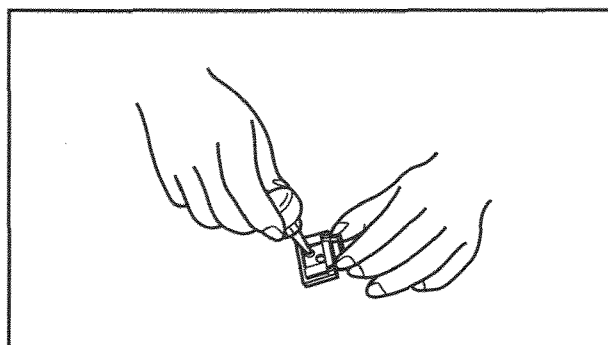
●●●スタンプインキの補充のしかた

スタンプの印刷が薄くなってきたら、次の方法でインキを補充してください。

- ① プリンタカバーを取り外します。
- ② 店名スタンプを矢印の方向に引き出します。



- ③ スタンプ裏面にあるインキ補充用の穴に、インキを2～3滴補充します。
- ④ 引き出したときと逆の方法で、スタンプを取り付けます。
- ⑤ プリンタカバーを取り付けます。



ご注意

- インキの補充は営業終了時におこなうようにしてください。きれいに印字されるまで10～15時間かかります。
- インキを入れすぎないでください。入れすぎると印字がにじみ、かえってきたなくなります。
- 補充インキはスタンプ専用のもので、インキローラには絶対補充しないでください。故障の原因となります。
- 補充インキがなくなりましたら必ず当社指定の補充インキをご使用ください。

引出しの取扱いについて

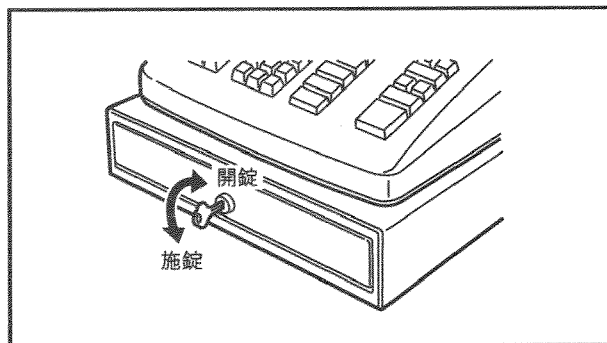
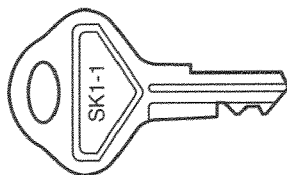
●●●引出しの施錠と開錠のしかた

長時間ご使用にならないときは、引出し錠を施錠するように心がけてください。

付属の引出し鍵を本体前部の鍵穴に挿入し、時計と反対方向に90度回すと施錠されます。

開錠するときは時計方向に90度回してください。

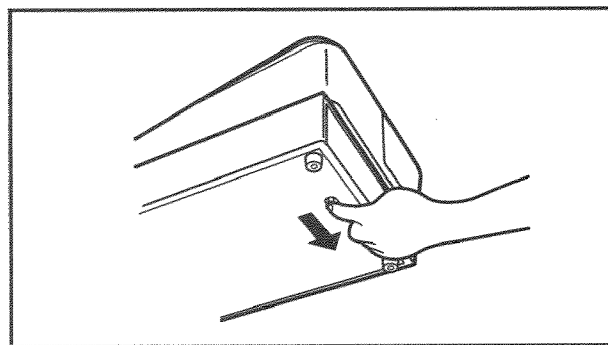
●引出し鍵



●●●引出しの開けかた

通常の登録時には、引出しは自動的に開きますが、停電時や万一故障したときなどは、本体底面の穴の中にあるレバーを矢印方向に引いてください。

ただし、引出し錠を施錠しているときは開きません。



●●●引出しの外しかた

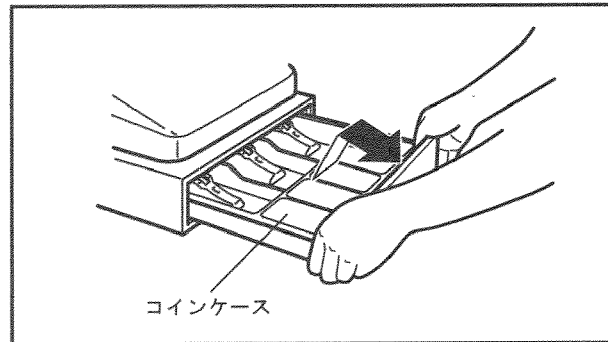
引出しを取り外すときは、引出しをいっぱいに引き出した状態で、上に持ち上げながら手前に引いた後に、引出しを水平状態に戻し、下げながら引き抜いてください。

※引出しは、硬貨5、紙幣3金種を装備しています。

また、コインケースは分離できます。

紙幣仕切板は、1万円札を下に入れるなどして、上下で金種を分けてご使用ください。紙幣4金種まで扱えるようになります。

※本機のコインケースは5種類の硬貨用ですが、オプションのサブコインケース (ER-3SC1) を使うと、それ以上の種類の硬貨に対応できます。くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。



その他の取扱いについて

●●●停電のときは

営業時間中、停電になったり、コンセントが抜けたりしてもレジスタの記憶内容およびそれまでの登録状態は保持されます。復帰後、停電前の状態または動作をそのまま継続しますので、続けて操作してください。

●●●印字中に停電になったときは

レシート印字中に停電し、不完全な印字や誤印字が発生しても、復帰すれば“印字エラー記号”とともに正しい内容が再印字されます。

01	*120	
0	00	— 停電前に印字した内容
*****		— 印字エラー記号
02	*500	— 復帰時の印字
	*620 小計	
	*31 外税	
	*651 現	

●●●プリンタが停止(モーターロック)したときは



ロール紙の紙づまりなどでプリンタのモーターが回転しない状態(モーターロック)になると、印字が止まり、アラーム音が鳴ります。この場合は次の操作をしてください。

- ① 電源プラグを抜き、紙づまりしているロール紙を取り除きます。
- ② 電源プラグを差し込みます。
- ③ ロール紙をプリンタにセットし、**CL** を押します。

停電時と同じ“印字エラー記号”が印字され、印字を再開します。以降は通常の操作をおこなってください。

●●●プログラムリセット

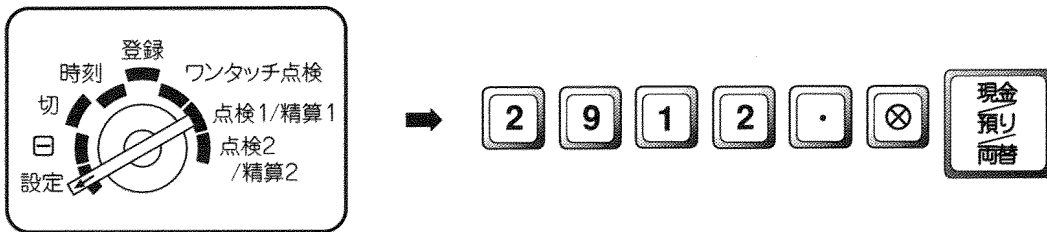
設定データや売上データなど、記憶内容を保持したままでレジスタを初期状態に戻す場合は、このプログラムリセットをおこないます。

- ① 電源プラグを抜きます。
- ② 機能切りかえスイッチを“設定”の位置に合わせておきます。
- ③  と  を同時に押したままで電源プラグを差し込みます。

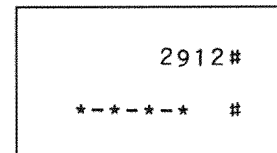
プログラムリセットをおこなうと、“★★★★★ 2”が印字されます。

●●●練習データを消したいときは

レジスタの操作練習で登録されたデータ内容を消去する(記憶内容をゼロにすることが)できます。この操作はレジスタ設置直後の練習が終わったときのみおこなってください。実際の登録を開始した後は絶対におこなわないでください。それまでの売上データがすべてゼロになってしまいます。



練習データを消去すると、レシートに右のように印字します。



形名	XE-A235S	
外形寸法	(はば)330mm×(おくゆき)419mm×(たかさ)273mm(ゴム足含む)	
質量	7.4kg	
電源	A C 100V ± 10% 50/60Hz	
消費電力	待機時8W 最大29W	
使用温度範囲	0℃～40℃	
使用素子	LSI (CPU、RAM)その他	
内蔵電池	蓄電池 : メモリ保持期間約1カ月(内蔵電池完全充電時、常温において)	
表示部	オペレータ側 : 7セグメント表示(10桁)	
プリンタ	印字方式 : ゴム活字式インナーハンマ方式 印字速度 : 約3行/秒 (最高時) 印字桁数 : 12桁(レシート紙、記録紙共) 付加機能 : 1. スタンプ機能 2. レシート発行/停止切りかえ機構 3. レシートおよび記録紙の独立紙送り機構 4. 1行認証印字機構	
ロール紙	紙質	: 上質紙
	紙幅	: 44.5mm±0.5mm
	外径	: 最大80mm
	紙厚	: 0.06～0.09mm
	用紙重量	: 52.3～64.0g/m ²
インキローラ	材質	: ポーラスラバー
	インキ寿命	: 約30万行
時計誤差	月差±60秒 (25℃において)	
引出し(金種)	8金種 (※9金種) : 紙幣用3金種 (※4金種)、硬貨用5金種 ※紙幣仕切板使用時	


- 本書に記載されている内容については、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本書の内容については、作成にあたり万全を期しておりますが、万一ご使用中にご不審な点、お気づきのことがありましたら、お手数ですが、もよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- 本製品を使用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

故障かなと思ったら

次のような場合は、故障でないことがありますので、修理やアフターサービスをお申しつけになる前にあらかじめお調べください。

●●●こんなとき、ここをお確かめください




1. 機能切りかえスイッチを“切”以外のどの位置に回しても、表示部が点灯しない。

- 電源コンセントまで電気がきていますか？
- 電源コードの差し込みプラグがコンセントから抜けたりゆるんだりしていませんか？
( 9ページ)




2. 表示部が点灯しても登録できない。

- 機能切りかえスイッチは“登録”の位置に正しく合わせられていますか？( 22ページ)




3. レシートが発行されない。

- レシートの発行が“停止状態”になっていませんか？( 23ページ)
- 紙づまりを起こしていませんか？( 70、73ページ)
- ロール紙の残量は十分ですか？( 67ページ)

4. 記録紙が巻き取らない。

- 巻取軸は正しく軸受けに設置されていますか？( 16、69ページ)
- 紙づまりを起こしていませんか？( 70、73ページ)
- 巻取軸にロール紙が正しく取り付けられていますか？( 69ページ)

5. 印字が正常でない。

- インキローラは正しく取り付けられていますか？( 16ページ)
- インキローラの寿命ではないですか？( 70ページ)
- ロール紙は正しくセットされていますか？( 67ページ)

アフターサービスについて

●●●製品の保証について

1. このレジスタには保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間はご購入の日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は…
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●●●修理を依頼されるときは

1. 「故障かなと思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
2. それでも異常があるときは、使用をやめて電源プラグを抜き、ご購入の販売店またはもよりのシャープお客様相談窓口にて次のことをご連絡のうえ、修理をお申し付けください。お申し出により **出張修理** いたします。

品名：電子レジスタ
形名：XE-A235S
故障の状態：(できるだけくわしく)



ご注意

- ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

3. アフターサービスについてわからないことは…
ご購入の販売店またはもよりのシャープお客様相談窓口にお問い合わせください。

●●●補修用性能部品について

当社は、この電子レジスタの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低7年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●●●店名スタンプ作成ご依頼要領

本機には標準スタンプを装備していますが、貴店独自のスタンプを作成される場合は、巻末の「店名スタンプ作成依頼書」に指定の事項をご記入の上、ご購入の販売店にお申し込みください。(有償)
納期は、ご依頼後約1ヶ月です。

MEMO

1. 形名 XE-A235S (セット番号 _____)

2. スタンプ作成顧客名

ご芳名 _____

ご住所 _____

電話番号 _____

3. 作成スタンプ個数 _____ 個

4. スタンプ原稿

(実寸は縦20mm、横30mmです。)

【お願い】

●黒のボールペンで大きくご記入ください。

●指定書体・マークはハッキリした正確な見本を添えてください。

5. 書体 (○で囲んでください)

丸ゴシック・角ゴシック

楷書・明朝

通信欄

..... 指定マーク、指定書体は、この枠内に添付してください。

Ⓢ この欄に添付なき場合は写植（角ゴシック体）にて作製いたします。

取扱店名

担当者名

住所

電話番号

販売名

統轄・支店(営)

受付日 年 月 日

依頼日 年 月 日

発注番号

担当

-----これより上の依頼書を切り取って送付してください。-----

形名 XE-A235S

消耗品名	品番	備考
ロール紙	ROL-P-6A	(5巻1パック) 紙幅:44.5mm±0.5mm 外径:最大80mm
インキローラ	TY-124A-B	
店名スタンプ用 補充インキ	TY-0301B	容量 5cc
	TY-0302B	容量 10cc

消耗品のご用命は下記店へ

店名	TEL
----	-----

きりとりせん

FAX
送信方向

FAX
送信方向

きりとりせん

右の部分を切り取ってレジスタの側面に貼っておくと便利です。

きりとりせん



使い方のご相談など

【レジスタ相談窓口】



0120 - 212 - 003

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間

●月曜～土曜：9:00～18:00
(祝日および年末年始を除く)

■ IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：06 - 7634 - 4095

FAX：06 - 6794 - 9675



修理のご相談など

【カスタマーセンター】(沖縄地区を除く)



0570 - 00 - 5008

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間

●月曜～土曜：9:00～17:40
(祝日および年末年始を除く)

■ <PHS・IP電話をご利用>または<沖縄地区の方>は…

東日本地区 PHS/IP電話：03 - 3810 - 8604

西日本地区 PHS/IP電話：06 - 6794 - 9676

沖縄地区 「那覇サービスセンター」098 - 861 - 0866(月～金 9:00～17:30)

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2011.3)

「よくあるご質問」などはホームページを
ご利用ください。



シャープサポートページ

<http://www.sharp.co.jp/support/ecr/>

シャープ株式会社

本 社
ビジネスソリューション事業推進本部

〒545-8522 大阪市阿倍野区长池町22番22号
〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

お客様へ…お買い上げ年月日、お買い上げ店名を記入されますと、修理などの依頼のときに便利です。

お買い上げ年月日	年	月	日
お買い上げ店名			
	電話番号		